

勉誠社

日本語学会 会員様対象 特別割引のご案内

全 点 **20%OFF**

割引クーポンコード: **ecb0574155**
(使用期限: ~2026年6月30日)

謹啓

日頃より弊社をお引き立ていただきまして、誠にありがとうございます。

このたび、日本語学会会員様対象の特別割引セールを行うことになりました。

当リストの新刊書籍をはじめ、既刊から在庫僅少タイトル(勉誠出版発行含む)まで、全品が対象です。

この機会にぜひともご購入をご検討くださいますよう、何卒よろしくお願い申し上げます。

謹白

●ご注文について

- ・弊社ウェブサイトよりご注文を承ります。

<https://bensei.jp>

各種クレジットカード、paypal(クレジットカード・デビットカード)でのご決済が可能です。
ぜひご利用くださいませ。

割引クーポンコード: **ecb0574155** (期限: ~2026年6月30日)

※割引クーポンコードを、必ずご入力ください!

未入力の場合、割引が適用されず、定価でのご請求となります。ご了承ください。

- ・メール添付、FAX、電話でもお受けしております。
ご氏名・ご住所・電話番号・公費/私費の区別・公費の場合は必要書類・宛名・日付の有無をお知らせください。
- ・送料
6,000円(税込)未満の購入 → 送料600円
6,000円(税込)以上の購入 → 送料無料
(※海外への配送に関しては、実費を頂戴します)
- ・[在庫僅少]リスト内タイトルは、弊社ウェブサイトでは品切表示となっている場合がございます。
その場合は、以下連絡先までお問い合わせください。

***ウェブサイト以外の方法によるご注文の際は、日本語学会の会員であることをお知らせください。**

●ご連絡先

Mail info@bensei.jp

電話 03-5215-9021

FAX 03-5215-9025

より詳細な「研究書 新刊・近刊のご案内」が
右のQRコードからダウンロードいただけます。



【勉誠社】研究書 近刊・新刊書籍リスト

2024～2026年刊行分

割引価格は、学会大会会場等での現金販売時の価格です（定価の2割引額の十の位を四捨五入した金額）。
公費支払い等の後払い、弊社ウェブサイトでのご注文の場合は、定価の2割引での販売となります。ご了承くださいませようお願いします。

	書名	著者名	刊行年月	ISBN	定価（税込）	割引価格	注文数
■日本語学・訓点語・言語学■							
	論究日本近代語 第4集	日本近代語研究会 編	2026/03	38524-0	19,800	15,800	
	訓点語と訓点資料 第一五六輯	訓点語学会 編輯	2026/03	38102-0	4,950	4,000	
	字典・詞典の研究	藤本灯 編／阿辻哲次・池田証寿 監修	2026/02	38008-5	11,000	8,800	
	梵漢和の中世—言語と論理の和歌史	岡崎真紀子 著	2026/02	39058-9	11,000	8,800	
	動的視点からの日本漢字音史研究	石山裕慈 著	2025/10	38007-8	12100	9,700	
	訓点語と訓点資料 第一五五輯	訓点語学会 編輯	2025/10	38101-3	4950	4,000	
	日本人は漢文をどう読んだか—直読から訓読へ	湯沢質幸 著	2024/05	38006-1	3520	2,800	
	論究日本近代語 第3集	日本近代語研究会 編	2024/04	38523-3	16500	13,200	
	楷書の秘密—「字様」が発見されるまで	西原一幸 著	2024/02	38005-4	4,180	3,300	
	増補改訂版 明恵上人夢記 訳注	奥田勲・平野多恵・前川健一 編	2024/11	31019-8	8,800	7,000	
	平安朝詩文論集	後藤昭雄 著	2024/09	39043-5	13,200	10,600	
近刊	日本漢字音研究の最前線〈アジア遊学●〉	加藤大鶴・石山裕慈・佐々木勇 編	2026年	-	-	-	
■事典・総記■							
	江戸時代の図説事典 訓蒙図象	小林祥次郎 解題	2025/10	30019-9	11,000	8,800	
	書物学 第33巻 蔵書家・集書家・書誌学者—蔵書・研究とその時代	編集部 編	2025/12	30733-4	2,200	1,800	
	書物学 第32巻 チリメン絵—ゴッホを魅了した知られざる出版文化	編集部 編	2025/11	30732-7	2,200	1,800	
	書物学 第31巻 100年後も手に取れる本に！ —日比谷図書文化館「内田嘉吉文庫」の保存・修復・活用	編集部 編	2025/10	30731-0	2,200	1,800	
	書物学 第30巻 書物から渋沢敬三を読む	神奈川大学日本常民文化研究所 編	2025/09	30730-3	2,200	1,800	
	書物学 第29巻 高屋重三郎と日本の出版文化 高重手引草	編集部 編	2025/08	30729-7	2,200	1,800	
	書物学 第28巻 相国寺—寺宝が伝える歴史と信仰	相国寺承天閣美術館 編	2025/08	30728-0	2,200	1,800	
	書物学 第27巻 近代製本の100年—明治・大正・昭和	編集部 編	2025/04	30727-3	2,200	1,800	
	書物学 第26巻 古筆見の仕事—真偽の先にあるもの	編集部 編	2025/02	30726-6	2,200	1,800	
■歴史■							
近刊	室町時代の将軍家と雅楽	石原比伊呂 著	2026/05	32096-8	11,000	8,800	
近刊	世界女帝事典	義江明子・氣賀澤保規・井野瀬久美恵 編	2026/05	30026-7	5,940	4,800	
近刊	中世前期の武家の学問と交流—金沢文庫本と称名寺聖教	福島金治 著	2026/05	32098-2	11,000	8,800	
近刊	大学の自治と日本近代史—中田薫懐旧夜話と関連史料	北康宏 編集・註解	2026/05	33008-0	14,300	11,400	
近刊	唐代国際文書研究—訳註 陸贄・白居易・李德裕・封敖の国書	金子修一 著	2026/05	32102-6	3,850	3,100	
近刊	日本中世の畠作と雑穀—「水田中心史観」批判	木村茂光 著	2026/05	32101-9	11,000	8,800	
近刊	古文書考証が読み解く戦国今川氏	大石泰史 著	2026/05	32086-9	3,850	3,100	
近刊	新しい日本考古学—出発のための方法論	竹岡俊樹 著	2026/05	32083-8	3,850	3,100	
近刊	舞楽図の近世的展開—形成・変奏・復古	古谷美也子 著	2026/05	37024-6	9,900	7,900	
	新装版 貸本問屋と貸本文化—娯楽的書籍の出版・流通・受容	松永瑠成 著	2026/04	32099-9	9,350	7,500	
	「文人画」と近代—概念・中国絵画史学・国画	李趙雪 著	2026/04	37026-0	11,000	8,800	
	Crypto-Kirishitan Relics in Japan (潜伏切支丹遺物考)	鈴木秀三郎 (Hidesaburo SUZUKI) 著	2026/04	32097-5	6,600	5,300	
	中国の舞台	伊藤茂・中山文 著	2026/03	37027-7	5,940	4,800	
	国策紙芝居からみる日本の戦争Ⅱ	神奈川大学非文字資料研究センター「戦時下国策紙芝居と大衆メディアの研究」班	2026/03	37025-3	11,000	8,800	
	近代東アジアと張家口—忘却された帝国の最前線	劉建輝 編	2026/03	32095-1	4,950	4,000	
	昭和天皇の再発見	所功 著	2026/03	32094-4	2,750	2,200	
	モノづくりから見る古代・中世の博多湾沿岸地域—保存科学調査が明かす生産と流通	比佐陽一郎 著	2026/03	32093-7	16,500	13,200	
	絵画史料を読む—中世・近世の生活文化史	斉藤研一 著	2026/03	32090-6	4,620	3,700	
	明治のインテリゲンチア・前衛派マスコミ人 鈴木秀三郎遺稿集	鈴木秀三郎 著／鈴木武夫・横山學 編	2026/03	32085-2	13,200	10,600	
	戦国合戦図屏風・絵巻を読む	堀新 編	2026/03	32082-1	14,300	11,400	
	歴史学の見方・考え方—研究の舞台裏	高橋宏明・宮間純一 編	2026/03	32092-0	2,200	1,800	
	細川家史料と史跡が伝える 近世初期キリシタンの信仰と逡巡—禁教をめぐる群像	稲葉継陽 編	2026/03	32091-3	3,850	3,100	
	ラジオの技術・産業の百年史 増補改訂版—大衆メディアの誕生と変	岡部匡伸 著	2026/02	32081-4	7,700	6,200	
	慶應義塾図書館所蔵 原本「八代日記」—原色影印と翻刻	中島圭一 編	2026/02	32087-6	19,800	15,800	
	江戸の大名家臣団	仲泉剛 著	2026/02	32089-0	11,000	8,800	
	日本近世・近代村落史研究	渡辺尚志 著	2026/02	32088-3	11,000	8,800	
	古文書研究 第100号	日本古文書学会 編	2026/01	32410-2	4,180	3,300	
	歌謡と芸態—在原業平の表象	児玉絵里子 著	2026/01	37023-9	4,180	3,300	
	増補改訂版 地域から考える世界史—日本と世界を結ぶ	桃木至朗 監修／藤村泰夫・岩下哲典 編	2025/12	32071-5	5,280	4,200	
	鷹狩の日本史 増補改訂版	福田千鶴・武井弘一 編	2025/12	32069-2	4,620	3,700	
	高木東六バリエ音楽留学日記—1928年～1931年	藤井浩基 著	2025/12	37022-2	12,100	9,700	
	黎明期の活字出版—和装活版本から文学書肆春陽堂の成立	山田俊治 著	2025/12	39051-0	6,600	5,300	
	古文書が映しだす江戸末期の信州松島村	日野正紀 著	2025/12	32084-5	5,500	4,400	
	洛中洛外図屏風の歴史学—歴博甲本から吉川史料館本まで	大塚活美 著	2025/11	32074-6	13,200	10,600	
	文化財を未来につなぐ博物館と学芸員の仕事—学芸員をめざす人へ	高木徳郎 編著	2025/11	30022-9	3,080	2,500	
	やさしい中国近現代史	泉谷陽子・井上久士・水羽信男 著	2025/11	32080-7	3,080	2,500	
	新彰義隊戦史 増補改訂版—附・「彰義隊名鑑」「彰義隊文書」	大藏八郎 編著	2025/11	32078-4	7,700	6,200	
	高山寺本 明恵上人夢記訳注	奥田勲・平野多恵・前川健一・立木宏哉・小宮俊海・野呂靖 編	2025/10	31022-8	8,800	7,000	

	法華験記の形成と思想	岡田文弘 著	2025/10	31026-6	11,000	8,800	
	新装版 書籍流通史料論 序説	鈴木俊幸 著	2025/10	32077-7	8,800	7,000	
	宋代中国都市の形態と構造 新装版	伊原弘 著	2025/10	32079-1	4,950	4,000	
	新装版 近世蔵書文化論 地域〈知〉の形成と社会	工藤航平 著	2025/10	32075-3	8,800	7,000	
	中世地下文書論の方法と実践	春田直紀 編	2025/10	32076-0	9,900	7,900	
	會澤正志齋と水戸学の国体論	藤野博 著	2025/09	32073-9	3,300	2,600	
	醍醐寺の法流と史料	佐藤亜莉華 著	2025/07	31023-5	8,800	7,000	
	古代木簡の世界—地方木簡がひらく古代史	森公章 著	2025/07	32066-1	3,080	2,500	
	壮(チワン)族の歴史と文化	田畑博子 編	2025/07	33007-3	6,600	5,300	
	外から見た江戸時代の書籍文化—写本・版本・在外書籍	ピーター・コーニツキー 著	2025/07	32067-8	9,900	7,900	
	朝鮮の国家形成と東アジア	武田幸男 著	2025/07	32070-8	13,200	10,600	
	和様と唐様の建築史学史	野村俊一 編著	2025/07	35004-0	8,800	7,000	
	徳川美術館蔵「遊楽図屏風(相応寺屏風)」は語る—將軍家光の政治と「邸内遊楽図」の誕生	黒田日出男 著	2025/07	32068-5	4,180	3,300	
	宋代士大夫官僚の基層社会と構造	伊原弘 著	2025/05	32049-4	13,200	10,600	
	増補改訂版 道教美術の可能性	齋藤龍一・鈴木健郎・土屋昌明 編	2025/04	37019-2	3,300	2,600	
	中国の女性演劇—越劇とジェンダー	中山文 著	2025/03	37018-5	8,250	6,600	
	新装版 武蔵武士を歩く—重忠・直実のふるさと 埼玉の史跡	北条氏研究会 編	2025/03	32062-3	2,970	2,400	
	武蔵武士を巡る—東京・神奈川の史跡と伝説	北条氏研究会 編	2025/03	32055-5	4,180	3,300	
	茶の湯の文化史	五味文彦 著	2025/03	32060-9	2,640	2,100	
	貸本問屋と貸本文化—娯楽的書籍の出版・流通・受容	松永瑠成 著	2025/03	32063-0	11,000	8,800	
	道教文化と日本—陰陽道・神道・修験道	日本道教学会 編	2025/03	31020-4	4,180	3,300	
	江戸庶民の読書と学び 増補改訂版	長友千代治 著	2025/02	32065-4	5,280	4,200	
	古文書研究 第98号	日本古文書学会 編	2025/01	32408-9	4,180	3,300	
	地方史誌から世界を読む—地方史誌から世界を読む	小二田章 編	2025/01	32064-7	8,800	7,000	
■ 古典文学・文学史 ■							
	日本宗教文化史の射程	吉原浩人 監修／鈴木英之・平沢卓也・崔鵬偉 編	2026/03	31027-3	9,900	7,900	
	杜甫研究年報 第九号	日本杜甫学会 編	2026/04	39449-5	2,200	1,800	
	新装版 俊頼髄脳全注釈	家永香織・小野泰央・鹿野しのぶ・館野文昭・福田亮雄 著	2026/04	39059-6	13,200	10,600	
	平安時代仮名文芸書	今西祐一郎 著	2026/05	39063-3	11,000	8,800	
	北条時広家集—注釈と研究	中川博夫 著	2026/05	39060-2	11,000	8,800	
	和歌が生まれるとき—近世歌人の方法	大山和哉 著	2025/10	39057-2	12,100	9,700	
	杜甫詩論考	後藤秋正 著	2025/10	39054-1	11,000	8,800	
	新装版 源氏物語の話しと表現世界	陣野英則 著	2025/10	39055-8	11,000	8,800	
	新装版 源氏物語論 女房・書かれた言葉・引用	陣野英則 著	2025/10	39056-5	7,700	6,200	
	近松・西鶴・芭蕉と出版文化	長友千代治 著	2025/08	32072-2	8,800	7,000	
	極上の仮名 王朝貴族の教養と美意識	五島美術館 編	2025/06	37020-8	2,750	2,200	
	幽憶 新フランス詩華集—ルネサンスから現代まで	竹本忠雄 著	2025/07	39053-4	6,600	5,300	
	日本中世の宗教世界	阿部泰郎 監修／佐藤愛弓・牧野敦司 編	2025/05	31021-1	9,350	7,500	
	中国の名作をどう読むか—真の主題を見極める	下定雅弘 著	2025/05	39048-0	6,600	5,300	
	杜甫研究年報 第八号	日本杜甫学会 編	2025/04	39448-8	2,200	1,800	
	〈絵語り〉の日本中世	井上泰 著	2025/03	37013-0	9,900	7,900	
	和漢韻文学の諸相	村上哲見 著／浅見洋二・松尾肇子 編	2025/03	39049-7	13,200	10,600	
	本歌取り表現論考	小山順子 著	2025/03	39050-3	12,100	9,700	
	水門 第三十二号	水門の会 編	2025/03	32463-8	3,850	3,100	
	孝謙天皇・称徳天皇御伝	米田達郎・米田雄介 編著	2025/01	32061-6	7,150	5,700	
	日本人の読書 新装版—古代・中世の学問を探る	佐藤道生 著	2025/01	39047-3	11,000	8,800	
■ 〈アジア遊学〉 ■							
近刊	318 日中古典文芸の往還と対話	李銘敏・小峯和明 編	2026/05	32564-2	3,520	2,800	
	317 アジアの都市遺産と祭祀・仏教	西本昌弘 編	2026/04	32563-5	3,520	2,800	
	316 宗教のダイナミズム—アジアの地域形成を読み解く	宮坂清 編	2026/03	32562-8	3,080	2,500	
	315 中・近世門跡論の可能性—貴種住持の寺はいかに存続したのか	近藤祐介・石津裕之 編	2026/03	32561-1	3,520	2,800	
	314 戒厳令下の台湾文学—本省籍知識人のアイデンティティと日本	工藤貴正 編	2026/02	32560-4	3,850	3,100	
	313 日本トルコ交流秘史—イスタンブール旧総領事館の100年	NPO法人日本トルコ交流協会 監修／ヤマノール水野美奈子・佐々木紳 編著	2026/01	32559-8	3,520	2,800	
	312 日本酒を読み解く—歴史・文化・技術	畑有紀・芳澤元 編	2025/12	32558-1	3,300	2,600	
	311 中国学術を貫く視座—章学誠の可能性	古勝隆一・竹元規人 編	2025/12	32557-4	3,520	2,800	
	310 海と陸のはざま—アジア・太平洋の干潟文化を探る	秋道智彌・辻貴志 編	2025/10	32556-7	3,850	3,100	
	309 外圧の日本古代文学史	遠藤耕太郎・濱田寛・吉見健夫 編	2025/10	32555-0	3,300	2,600	
	308 鏡としての日本文学—交響する中日古典	張龍妹 編	2025/10	32554-3	3,520	2,800	
	307 空間と環境の古代東アジア世界史 GISと歴史学・考古学の協奏	中村慎一・渡部展也・小林正史・菊澤律子・大川裕子・村松弘一 編著	2025/09	32553-6	3,850	3,100	
	306 建築とオリジナル 創造・継承・解釈	赤澤真理・加藤悠希・米澤貴紀 編	2025/08	32552-9	4,180	3,300	
	305 近現代日本を生きるテキスト遺産—モノ×営為×世界	Edoardo Gerlini・河野貴美子 編	2025/07	32551-2	3,300	2,600	
	304 北欧口マンとナショナルリズム—内村鑑三・開拓・民族主義	中丸禎子・田中球三 編著	2025/07	32547-5	4,180	3,300	
	303 瓦から探る中世寺院	中世瓦研究会 編	2025/05	32549-9	3,300	2,600	
	302 アク・ベシム遺跡を掘る—よみがえるシルクロードの交易都市	山内和也・齋藤茂雄 編	2025/05	32548-2	3,520	2,800	
	301 描かれた法華経—本法寺蔵「法華経曼荼羅図」の時空	原口志津子 編	2025/03	32547-5	3,300	2,600	
	300 性なる仏教	大谷由香 編	2025/01	32546-8	3,080	2,500	

■ 図書館学・アーカイブ ■							
デジタルアーカイブの権利処理入門	数藤雅彦 責任編集/小山紘一・川野智弘・酒井麻千子・鈴木康平 編	2026/05	30025-0	3,850	3,100		
学校司書のお仕事	大橋崇行 著/有山裕美子 監修	2026/04	30023-6	1,980	1,600		
学校図書館サービス論	金沢みどり・雪嶋宏一 監修/金沢みどり・望月道浩 編著	2025/10	30403-6	2,970	2,400		
大宅壮一文庫解体新書Ⅱ 雑誌図書館を活用した研究	阪本博志 編	2025/09	30021-2	3,300	2,600		
調べ物に役立つ 図書館のデータベース 2025年版	小曾川真貴 著	2025/07	30016-8	2,200	1,800		
デジタルアーカイブ入門—つかう・つくる・支える	柳与志夫・渡邊英徳 責任編集	2025/06	30015-1	4,620	3,700		
「メタデータ」のパスベクティブ	池内有為・木村麻衣子 責任編集	2025/06	30306-0	4,950	4,000		
図書館の日本史 増補改訂版 (ライブラリーぶっくす)	新藤透 著	2025/06	30018-2	4,180	3,300		
学校図書館概論	金沢みどり・雪嶋宏一 監修/雪嶋宏一・須永和之 編著	45778	30402-9	2,750	2,200		
デジタルデータの長期保存・活用—その理論と実践	嘉村哲郎 責任編集	2025/03	30305-3	4,620	3,700		
2024年							
299 近代日本の中国学—その光と影	朱琳・渡辺健哉 編著	2024/12	32545-1	3,850	3,100		
298 無住道暁の拓く鎌倉時代—中世兼学僧の思想と空間	土屋有里子 編	2024/10	32544-4	3,080	2,500		
297 廃墟の文化史	木下華子・山本聡美・渡邊裕美子 編	2024/10	32543-7	3,300	2,600		
296 天文文化の視点—星を軸に文化を語る	松浦清・真貝寿明 編	2024/10	32542-0	3,850	3,100		
295 蘇州版画—東アジア印刷芸術の革新と東西交流	青木隆幸・板倉聖哲・小林宏光 編	2024/09	32541-3	3,520	2,800		
294 秀吉の天下統一—奥羽再仕置	江田郁夫 編	2024/06	32540-6	3,520	2,800		
293 彷徨する宗教性と国民諸文化—近代化する日独社会における神話・宗教の諸相	前田良三 編	2024/02	32539-0	3,300	2,600		
デジタル時代のコレクション論 (デジタルアーカイブ・ベーシック)	中村覚・逢坂裕紀子 責任編集	2024/10	30304-6	3,850	3,100		
図書館員をめざす人へ 増補改訂版	後藤敏行 著	2024/10	30014-4	2,640	2,100		
新装版 数と易の中国思想史—術数学とは何か	川原秀城 著	2024/12	81045-2	7,700	6,200		
正訳 源氏物語 本文対照 第一冊 (オンデマンド版) 桐壺/帚木/空蝉/夕顔/若菜	中野幸一 訳	2024/12	89571-8	2,750	2,200		
清少納言伝—中宮定子讃仰と鎮魂の生涯	上原作和 著	2024/11	39046-6	5,940	4,800		
鎌倉幕府の文学論は成立可能か!?—真名本『曾我物語』テキスト論	神田龍身 著	2024/10	39045-9	4,180	3,300		
日本人にとって教養とはなにか—〈和〉〈漢〉〈洋〉の文化史	鈴木健一 著	2024/10	39044-2	3,850	3,100		
日本古典文学と中国の古伝承—物語形成の比較文学的考察	三木雅博 著	2024/09	39042-8	11,000	8,800		
新装版 正訳 紫式部日記 本文対照	中野幸一 訳	2024/05	39041-1	2,420	1,900		
ラテンアメリカ文学の出版文化史—作家・出版社・文芸雑誌と国際的文学ネットワークの形成	寺尾隆吉 編著	2024/05	39040-4	6,050	4,800		
中国古典戯曲演劇論	岡晴夫 著	2024/04	37015-4	16,500	13,200		
球陽外巻 遺老説伝	前村佳幸 校注	2024/04	32048-7	8,800	7,000		
杜甫研究年報 第七号	日本杜甫学会 編	2024/04	39447-1	2,200	1,800		
水門 第三十一号	水門の会 編	2024/03	32462-1	3,850	3,100		
川端康成の曖昧な声—日本語の小説における文体と身体との交点	平井裕香 著	2024/03	39038-1	6,600	5,300		
本 かたちと文化—古典籍・近代文献の見方・楽しみ方	国文学研究資料館 編	2024/02	30011-3	3,080	2,500		
本 かたちと文化 (電子版)—古典籍・近代文献の見方・楽しみ方	国文学研究資料館 編	2024/02	70011-1	3,080	2,500		
歴史叙述としての平家物語	塩山真奈 著	2024/02	39037-4	8,800	7,000		
書物学 第25巻 古典籍の文献学—鶴見大学図書館の蒐書を巡る	編集部 編	2024/04	30725-9	2,200	1,800		
妖怪ブックガイド600	水屋亭氷泉・式水下流 著	2024/07	30017-5	3,080	2,500		
世界の絵本・作家 総覧	O.L.V. (おおぶ文化交流の杜図書館ボランティアグループ)・おおぶ文化交流の杜図書館 編	2024/06	30013-7	22,000	17,600		
アーカイブズ学入門	国文学研究資料館 編	2024/07	30012-0	3,080	2,500		
古文書研究 第99号	日本古文書学会 編	2024/06	32409-6	4,180	3,300		
社寺建築を知るための用語集—日本の歴史的建築を考える	濱島正士 著/文化財建造物保存技術協会 編集協力	2024/06	35003-3	4,180	3,300		
帝鑑図と帝鑑図説—日本における勅戒画の受容	小助川元太・薬師寺君子・野田麻美・水野裕史 編	2024/11	37017-8	16,500	13,200		
武蔵武士を巡る—東京・神奈川の史跡と伝説	北条氏研究会 編	2024/12	32055-5	4,180	3,300		
近世日本邪正論—江戸時代の秩序維持とキリシタン・隠れ/隠し念仏	大橋幸泰 著	2024/11	32058-6	11,000	8,800		
看聞日記とその時代—好奇心旺盛な皇族・伏見宮貞成が語る中世社会	園部寿樹 著	2024/10	32059-3	4,620	3,700		
荘園制再編と中世日本	小川弘和 著	2024/10	32057-9	8,800	7,000		
源氏絵研究の最前線	稲本万里子 編著	2024/10	37016-1	14,300	11,400		
織田信長文書の世界—永青文庫 珠玉の六〇通	公益財団法人永青文庫・熊本大学 永青文庫研究センター 編	2024/09	32054-8	3,080	2,500		
増補改訂版 東インド会社とアジアの海賊	東洋文庫・斯波義信・平野健一郎・羽田正 監修/	2024/09	32056-2	3,520	2,800		
醍醐寺文化財研究所研究紀要 第24号	醍醐寺文化財研究所 編	2024/09	31302-1	2,750	2,200		
都市鎌倉の展開と鶴岡八幡宮の社人集団	佐藤博信 著	2024/09	32050-0	8,800	7,000		
日本中世史論集	森茂暁 著	2024/09	32053-1	13,200	10,600		
料理の日本史	五味文彦 著	2024/09	32045-6	2,640	2,100		
ハナシ語りの民俗誌	川島秀一 著	2024/08	33006-6	3,520	2,800		
開かれていた鎖国—入り船と出船	片桐一男 著	2024/08	32046-3	8,800	7,000		
新装版 日本建築の歴史的評価とその保存	山岸常人 著	2024/08	32052-4	18,700	15,000		
教育勅語—少年昭和天皇への進講録	杉浦重剛 著/所功 解説	2024/07	32051-7	1,320	1,100		
広益体 妖怪普及史	伊藤慎吾・水屋亭氷泉・式水下流・永島大輝・髙橋本郷猛・御田鉄・毛利恵太 著	2024/07	32040-1	3,520	2,800		

古文書研究 第97号	日本古文書学会 編	2024/06	32407-2	4,180	3,300
和紙を科学する 製紙技術・繊維分析・文化財修復	大川昭典 著	2024/06	35002-6	4,620	3,700
近世長崎渡来人文運史 言語接触と文化交流の諸相	若木太一 著	2024/06	32044-9	14,300	11,400
永平廣録 大全—『祖山本 永平廣録』訓読・訳註・補注参究ならびに解題・関連資料集成	大谷哲夫 著	2024/06	31017-4	71,500	57,200
増補改訂版 室町時代の将軍家と天皇家	石原比伊呂 著	2024/05	32047-0	9,900	7,900
戦後出版文化史のなかのkastori雑誌	石川巧 編集代表/ kastori雑誌編集委員会 編	2024/05	39039-8	3,080	2,500
増補改訂版 図像学入門—疑問符で読む日本美術	山本陽子 著	2024/04	37014-7	2640	2,100
古文書修復講座—歴史資料の継承のために	神奈川大学日本常民文化研究所 監修/ 関口博巨 編	2024/03	32035-7	4180	3,300
三井大坂両替店の顧客信用情報—享保一七年から明治二年まで	萬代悠 編	2024/03	32042-5	16500	13,200
「見える」ものや「見えない」ものをあらわす —東アジアの思想・文物・藝術	外村中・稲本泰生 編	2024/03	37012-3	15400	12,300
湖北省留日学生と明治日本	王鼎 著	2024/03	32043-2	7700	6,200
器と信仰—東アジアの舍利荘嚴をめぐる美術史・考古学からのアプローチ	加島勝 編	2024/03	32041-8	16500	13,200
彰義隊士の手紙—続『新彰義隊戦史』	大藏八郎 著	2024/03	32036-4	22000	17,600
日本近世史入門—ようこそ研究の世界へ！【重版出来！】	上野大輔・清水光明・三ツ松誠・吉村雅美 編	2024/02	32034-0	4,180	3,300
コレクションと歴史意識 —十九世紀日本のメディア受容と「好古家」のまなざし	古畑侑亮 著	2024/02	32038-8	11,000	8,800
近世後期の海防と社会変容	清水詩織 著	2024/02	32037-1	11,000	8,800
朝鮮時代ソウル都市史	高東煥 著/野崎充彦・金子祐樹 訳	2024/02	32039-5	9900	7,900
泰山諸神の信仰の展開—東岳大帝から碧霞元君へ	二ノ宮聡 著	2024/01	31018-1	8,800	7,000

アジア遊学

今夏刊行予定！

特集：日本漢字音研究の最前線 (仮)

加藤大鶴・石山裕慈・佐々木勇 [編]

予価 3,300 円

第Ⅰ部 漢字音研究を知る

石山裕慈/佐々木勇/湯沢質幸/岡島昭浩/肥爪周二

第Ⅱ部 人文情報学と漢字音研究

大島英之/加藤大鶴/高田智和/中澤信幸/池田証寿/師茂樹

第Ⅲ部 漢字音研究の最先端

鈴木裕也/肥爪周二/石山裕慈/佐々木勇/坂水貴司/

浅田健太郎/加藤大鶴

ご予約承っております！

お申し込みは

Web Site◎<https://bensei.jp>

FAX◎03-5215-9025

Mail◎info@bensei.jp

勉誠社

〒101-0061

東京都千代田区神田三崎町2-18-4

株式会社 勉誠社 TEL 03-5215-9021



BENSEISHA

石山裕慈 [著]

動的視点からの 日本漢字音史研究

日本語話者にとって、日本漢字音とはいかなるものであったのか。日本漢字音とは、単なる経年変化の中で受動的に採用されたものではなく、何らかの使用意識の下で、当時いくつか存した選択肢の中から、自覚的・無自覚的に選択された結果のものである。本書ではこの「動的」な一面に着目し、個々の資料に出現する漢字音を分析し、相互に比較・対照。当時、どのような音が選択され、背後にどのような論理・力学があったのかを探り、中世以降の日本漢字音、すなわち日本語の漢字の音読みの歴史的变化について考察する。

定価 12,100円
(本体価格 11,000円)

A5判・上製カバー装・432頁
ISBN978-4-585-38007-8 C3081
2025年10月刊行

目次

凡例
序章

第1部 中世日本漢字音の種々相

- 第1章 漢籍訓読資料における漢字音の実態(1)——『論語』の場合——
第2章 漢籍訓読資料における漢字音の実態(2)——『莊子』の場合——
第3章 漢籍訓読資料における漢字音の実態(3)——『遊仙窟』の場合——
第4章 日本漢文における漢字音の実態(1)——『本朝文粹』の場合——
第5章 日本漢文における漢字音の実態(2)——『世俗諺文』の場合——

第2部 「漢語音」の視点から見た日本漢字音の変化

- 第1章 吳音字音直読資料における漢語音をめぐって
第2章 片仮名交じり文における漢語声調——親鸞自筆『三帖和讃』の場合——
第3章 漢籍訓読資料における漢語声調——『本朝文粹』の場合——
第4章 『四座講式』における漢語声調の変化
第5章 『補忘記』の漢語アクセント
第6章 漢語声調・アクセント史研究をめぐる諸問題

第3部 漢字音の日本語化と学問的干渉

- 第1章 室町時代の『論語』古写本の清濁
第2章 浄土三部経音義の漢字音
第3章 法華経音義における入声字の表記——日本漢字音史資料としての側面から——
第4章 字音仮名遣いの整備と現状——蒙韻字の場合——
第5章 日本漢字音における「字重複数音」の歴史

参考文献一覧／後書き／索引

著者紹介

石山裕慈(いしやま・ゆうじ)

神戸大学大学院人文学研究科教授。
専門は日本語史(特に日本漢字音史)。
主要業績は「貞享版『補忘記』の漢語アクセント」(『国語と国文学』85-3、2008年)、「『遊仙窟』各本に記入された日本漢字音の位置づけ」(『国語と国文学』90-7、2013年)、「漢字音の一元化」の歴史」(『国語と国文学』95-10、2018年)(以上本書所収)、沖森卓也・肥爪周二編『シリーズ日本語ライブラリー・漢語』(朝倉書店、2017)、「日常使用の日本漢字音の歴史——『日葡辞書』と現代日用語辞典との比較を通して——」(『国語と国文学』99-9、2022年)、「『和英語林集成』第三版の漢字音についての一考察」(『神戸大学文学部紀要』50、2023年)など。

書名	部数
動的視点からの日本漢字音史研究	定価 12,100円 (本体11,000円)
石山裕慈 [著]	A5判・上製カバー装・432頁 ISBN 978-4-585-38007-8 C3081 2025年10月刊行
ご送付先ご住所(通信欄)	

勉誠社

※上記注文書にご記入の上、お近くの書店あるいは勉誠社宛にお申し出ください。
千代田区神田三崎町2-18-4 TEL.03-5215-9021 WEBSITE.http://bensei.jp/

FAX 03-5215-9025

字典・詞典の研究

藤本灯 [編]

(ふじもと・あかり)
清華大学副教授
古代学協会客員研究員

阿辻哲次・池田証寿 [監修]

(あつじ・てつじ)
漢検 漢字博物館・
図書館館長
京都大学名誉教授

(いけだ・しょうじゅ)
北海道大学名誉教授

定価 11,000円
(本体価格 10,000円)

A5 判上製カバー装・472頁
ISBN978-4-585-38008-5 C3080
2026年2月刊行

文字のための字典、 言葉のための詞典が交差する 東アジアの言語世界

中国最初の漢字字典『説文解字』（西暦100年頃）から日本の『日本大辞書』（1892-1893年）まで、古今の辞書を対象に、系統研究から、成立論、字体史、音韻史、語彙史、受容史、データベース化まで、さまざまな角度からおこなわれてきた辞書研究を、日中韓の研究者が集い総合的に捉える初の試み。



【目次】

序 文

「小学」からの脱皮——漢字研究の新しい地平■阿辻哲次
日中辞書研究の対話に向けて——『字典・詞典の研究』の刊行によせて■池田証寿

第一章 「字典」の研究

朝鮮本『龍龕手鑑』の増補資料■田中郁也
朝鮮本における字体——『洪武正韻』と『新增類合』を例にして■楊 慧京
観智院本『類聚名義抄』の「俗通」字について■張 馨方
「字鏡集」の漢字音についての試論■伊藤智弘
色葉字平他類韻書の利用実態及び位置付け
——『伊呂葉字平宅』『色葉字平宅』を例にして■康 凱欣
近世琉球で使用された字書についての一報告■中野直樹
『増続大広益会玉篇大全』本文の典拠について
——『大広益会玉篇』・『字彙』・『正字通』等の利用■中野直樹・劉 冠偉

第二章 日本における「詞典」の研究

『本草和名』所引佚書初探
——「諸家食経」と「諸家本草音義」を中心に■武 倩
『倭名類聚抄』における漢音注の編纂過程について■鈴木裕也
日本の「国語辞書」の語彙の消長
——『色葉字類抄』口篇量字部の熟語を母体として■藤本 灯
『色葉字類抄』における呉音漢音混読語の性格■大島英之
『名語記』と悉曇学■小林雄一
十九世紀における『倭訓栞』の受容■小野春菜
『日本大辞書』の「誤り」を捉え直す——連歌用例をめぐる■河瀬真弥

第三章 古辞書の構造化

日本古辞書の構造化記述について——『篆隸万象名義』を例にして■李 媛
TEI/XMLとRDFによる日本古辞書の出典情報記述モデル■申 雄哲
古辞書Web 研究資源横断検索のためのメタデータ設計■劉 冠偉

第四章 【講演】の部

『説文解字讀』について■阿辻哲次
中国最初の漢字字典『説文解字』はなぜ
漢字の構成原理を説くことを主な内容とするのか
——出土文献研究の視野から『説文解字』を考える■李 守奎
日本辞書史研究の回顧——平安時代を中心に■池田証寿
『和名類聚抄』から『倭名類聚鈔箋注』へ(続)■萩原義雄
あとがき■藤本 灯
執筆者紹介

書 名	部 数
字典・詞典の研究	
藤本灯 [編] 阿辻哲次・池田証寿 [監修]	
定価 11,000円 (本体10,000円)	
A5 判・上製カバー装・472頁 ISBN 978-4-585-38008-5 C3080 2026年2月刊行	
ご送付先ご住所・氏名 (通信欄)	部

勉誠社

※上記注文書にご記入の上、お近くの書店あるいは勉誠社宛にお申し出ください。
千代田区神田三崎町2-18-4 TEL.03-5215-9021 WEBSITE.http://bensei.jp/

FAX◎03-5215-9025

高山寺本

こうせんじほん
みょうえしようにん
ゆめのきやくちゅう

明恵上人 夢記訳注

奥田 勲
平野多恵
前川健一
立木宏哉
小宮俊海
野呂靖

編著

おくだ・いさお：聖心女子大学名誉教授
ひらの・たえ：成蹊大学文学部教授
まえがわ・けんいち：
創価大学大学院文学研究科教授
たちき・ひろや：聖心女子大学ほか非常勤講師
こみや・しゅんかい：
大正大学非常勤講師／智山伝法院非常勤講師
のろ・せい：龍谷大学心理学部教授

中世日本の思想や文化に大きな影響を与えた明恵上人。

その明恵が自らの見た夢を詳細に書き記した「夢記（ゆめのき）」は、明恵その人の思想や心性を示すのみならず、日本人と夢や精神世界との関係を解き明かすための重要な基礎資料である。

明恵が開いた梅尾・高山寺に伝わる夢記の全篇に翻刻・訓読・現代語訳・語釈・考察を付した決定版。

既刊の『増補改訂版 明恵上人夢記訳注』と併せ、「明恵上人夢記」の全体像を把握する画期的成果。

本書の特長

- 高山寺に所蔵される明恵上人夢記の影印・解題・翻刻・訓読・現代語訳・考察を収載した画期的な基礎文献。
- 夢・思想・宗教・歴史などの分析・検討に広く有用な資料を提供し、文学・思想・宗教・歴史・心理学・日本語学・古筆学・美術等、さまざまな研究分野に裨益する必携の一書。
- 「I 影印」には「明恵上人夢記」第十篇全体の影印を掲載した。
- 「II 解題」では「明恵上人夢記」の全体像と研究史を概観。また、高山寺蔵の夢記について詳細な解説を加えた。
- 「III 訳注」では、各夢記について【翻刻】【訓読】【現代語訳】【語釈】【考察】を掲載した。
- 「IV 資料」には、研究のツールとして有用な【華嚴仏光三昧観冥感伝】訓読【夢記年表】【明恵略年表】【固有名詞解説】【夢記関連地図】【参考文献】【人名一覧】【事項索引】を収載した。

明恵上人とは…

一一七三～一二三二。鎌倉時代の華嚴宗の僧。三十四歳に後鳥羽上皇の院宣により、梅尾を賜り、ここに高山寺が開創される。著書に、『摧邪輪』など多数。

目次

【口絵】
〔明恵上人夢記〕第十篇 毘盧遮那の夢
〔明恵上人手鏡〕建久九年十月夢記

緒言：奥田勲
凡例

I 影印

〔明恵上人夢記〕第十篇

II 解題

明恵「夢記」概観
高山寺本解題

III 訳注

凡例
高山寺本（訳注）
聖教等所載の夢記（目録・訳注）

IV 資料

華嚴仏光三昧観冥感伝】訓読
夢記年表
明恵略年表
固有名詞解説
参考文献
夢記関連地図
事項索引
人名一覧

あとがき

謝辞
編著者・執筆者一覧

定価 8,800円（本体価格8,000円）

A5判上製カバー装
580頁（カラー口絵2頁）
2025年10月刊行

ISBN978-4-585-31022-8 C3015

書名	冊数
注 文 書 高山寺本 明恵上人夢記訳注 奥田 勲・平野多恵・前川健一・立木宏哉・小宮俊海・野呂 靖 [編著]	定価8,800円（本体価格8,000円） A5判上製カバー装・580頁（カラー口絵2頁） 2025年10月刊行 ISBN978-4-585-31022-8 C3015
増補改訂版明恵上人夢記訳注 奥田勲・平野多恵・前川健一 [編]	定価8,800円（本体価格8,000円） A5判上製カバー装・584頁（口絵2頁） ISBN978-4-585-31019-8 C3015 2024年11月刊行

ご送付先ご住所（通信欄）

梵漢和の中世

言語と論理の和歌史

岡崎真紀子 著

人間文化研究機構 国文学研究資料館教授。総合研究大学院大学教授(併任)。専門は中古文学・中世文学。主な論文に『散木奇歌集』における歌題の生成(『国語国文』九十巻九号、二〇二一年九月)、著書に『やま』とことば表現論―源後頼(『笠間書院』、二〇〇八年)、『発心和歌集 極楽願往生和歌新注』(青簡舎、二〇一七年)、共編著に『百韻連歌撰注釈 第一巻(連歌注釈書刊行会編 新興社、二〇二三年)』などがある。

和歌とは一体いかなるものであるのか――

仏教の思想と文化が広まり、定着していった中世日本において、その問いの答えは、天竺・中国・日本の三国にわたる世界認識・言語意識のなかに求められていった。仏教に由来する言語表現や論理を、和歌はどのように受け容れたのか。その受容のなかで、和歌・和語をめぐる表現や思想はどのように深化・展開していったのか。和歌・連歌の表現、それをめぐる注釈や説話、さらには密教学、悉曇学、神道説の言説など、和歌にまつわる「ことば」への意識と葛藤を記した諸資料を通覧・分析し、これまで見落とされてきた「もう一つの和歌史」を描き出す画期的成果。

総論

I 部 序の文章史

第一章 勅撰和歌集仮名序小史

第二章 勅撰和歌集序という論理

第三章 序における梵漢和源為憲「三宝絵」をめぐって

II 部 悉曇の歌学史

第四章 院政期における歌学と悉曇学

第五章 顕昭の歌学と音韻相通説

第六章 仙覚『萬葉集註釈』における言語意識

第七章 『毘沙門堂本古今集注』に現れた語学的方法

第八章 『毘沙門堂本古今集注』における韻学的論理

第九章 「五音連声」の歌学史

III 部 「釈教」の和歌史

第十章 「釈教」題の和歌と「日の本」――『嘉元百首』定為歌をめぐって

第十一章 中世百首歌における「釈教」題――『嘉元百首』を中心に

第十二章 中世連歌における「釈教」――『新撰菟玖波集』をめぐって

IV 部 仏教の詠歌史

第十三章 『極楽願往生和歌』における詠歌と願い

第十四章 藤原俊成における「声なるもの」の諸相

第十五章 『続古今和歌集』神祇歌と高野――祈親上人定誓を手がかりに

第十六章 『慕帰絵』における覚如の歌

第十七章 正徹の和歌と「竜女成仏」

おわりに

参考資料

一 院政期歌学書における音韻相通に関わる記述

二 仙覚『萬葉集註釈』悉曇および和語の音韻・文字に関する記述(稿)

三 『続千載和歌集』所収後宇多院長歌

四 百首歌の歌題構成抄(稿)

五 『新古今和歌集』釈教歌

六 『新撰菟玖波集』釈教連歌

七 関連略年表

八 『極楽願往生和歌』本文

九 『新撰菟玖波集』釈教連歌

十 『極楽願往生和歌』本文

あとがき／初出一覧
索引(書名索引・人名索引・和歌連歌初句索引)

定価 11,000円・本体10,000円
A5判・上製カバー装・704頁
2026年2月刊行
ISBN978-4-585-39058-9 C3095

<p>書名</p> <p>梵漢和の中世</p> <p>岡崎真紀子〈著〉</p>	<p>冊数</p> <p>冊</p>
<p>ご氏名／ご送付先ご住所(通信欄)</p>	

定価 11,000円・本体10,000円
A5判・上製カバー装・704頁
2026年2月刊行
ISBN978-4-585-39058-9 C3095

今西祐一郎 [著]

(いまにしゅういちろう)一九四六年生まれ。京都大学文学部卒業。九州大学、国文学研究資料館名誉教授。専門は日本古典文学。著書に『通俗伊勢物語』(平凡社東洋文庫、一九九一年)、『源氏物語覚書』(岩波書店、一九九八年)、『蜻蛉日記覚書』(岩波書店、二〇〇七年)、『死を想え』、『九相詩』、『休骸宣』(ブックレット)『書物を開く』(平凡社、二〇一六年)などがある。

平安時代仮名文芸覚書

『伊勢物語』『土佐日記』『蜻蛉日記』をはじめ、さまざまな平安時代の仮名文芸のことばや結構を、その時代の感性や認識を見渡す視点より検討。従来の解釈の刷新を促す新見を提示する待望の一冊。

[目次]

伊勢物語

- 『伊勢物語』の形成とその背景
- 「まめ男」の背景——二段
- 「用心」の歌——二段
- 「築地のくづれ」——五段
- 「友」か「供」か——八・九段
- 「うばらからたち」——六十三段
- 「わがたのむ君がために」と——九十八段
- 「うづらとなりて鳴きをらむ」——一二三段
- 恋と死

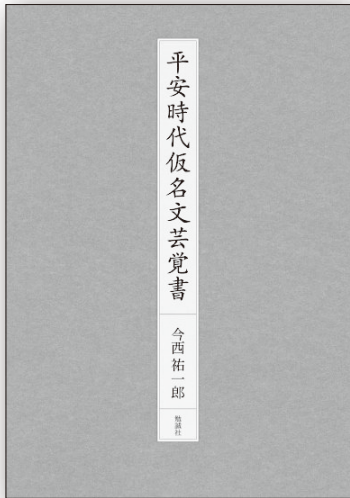
日記

- 『土佐日記』の日付はどう訓むか
- 「日記」と「歌」——平安仮名日記の編集
- 『蜻蛉日記』解説
- 「例の人」考——道綱母の結婚
- 「いたらぬところなしと聞き古したる手」——兼家の懸想文
- 「うつろひたる菊」
- 『蜻蛉日記』の本文と辞書——『広辞苑』の用例
- 仮名日記の冒頭——『紫式部日記』をめぐる

その他

- 十八 「なさけ」について
- 十九 「なさけ」の系譜——『伊勢物語』の「男」から光源氏へ
- 二十 「色好み」について
- 二十一 「時の聖俗」——「き」と「けり」
- 二十二 「このたびは幣もとりあへず」は誰の歌か——『百人一首』菅原道真歌について
- 二十三 「口にては宰相とこそいふべかりけれ」——「参議」の呼び方
- 二十四 『主殿集』について

初出一覧



定価 11,000円 (本体 10,000円)

A5判上製カバー装・352頁
ISBN 978-4-585-39063-3 C3095
2026年5月刊行

書名	部数
平安時代仮名文芸覚書	定価11,000円(本体10,000円) A5判上製カバー装・352頁 ISBN 978-4-585-39063-3 C3095 2026年5月刊行
今西祐一郎 [著]	部
ご送付先 (氏名・住所・電話番号)	

中世前期の 武家の学問と交流

金沢文庫本と称名寺聖教

鎌倉幕府が擁立した後嵯峨院期に公武の交流が緊密となって以降、京都の文化が鎌倉に流入し、さらに御家人らを通して地方へ伝播していった。東国の知の中枢として後世に至るまでその名を轟かせた金沢文庫の典籍、そして、金沢北条氏の菩提寺称名寺に残された称名寺聖教を仔細に検討、鎌倉時代中期から南北朝後期における和書・漢籍・聖教類の東国への伝来と享受、さらには地方における展開を見通し、そこに関わった人々と知のネットワークを明らかにする。

第一部 金沢北条氏の京都との交流と蔵書管理

第一章 鎌倉後期の鎌倉・京都の交流——金沢文庫文書を通して

第二章 称名寺と金沢文庫——東国鎌倉の「知」の中枢

第三章 金沢文庫文書の目録作り——初代文庫長関靖先生へもどる仕事

第二部 法流の相承と鎌倉の拠点寺院

第一章 中世寺院のネットワーク

第二章 安達泰盛と鎌倉の寺院

第三章 鎌倉松谷正法蔵寺小考

第四章 金沢称名寺と伊勢・鎮西——伊勢国高角大日寺をめぐる

第三部 北条実時の漢籍受容とその媒介者

第一章 鎌倉中期の京・鎌倉における漢籍受容者群——「管見抄」と「鳩嶺集」のあいだ

第二章 鎌倉中期の京・鎌倉の漢籍伝授とその媒介者——金沢文庫本とその周辺

第三章 「名語記」の著者経尊とその周辺——鎌倉中期の公武交流と西国の交通・流通

第四部 知識の蓄積・利用のありかたと武家政権

第一章 延慶改元・改暦への鎌倉幕府の関与について——「大唐陰陽書」付載文書の検討をてがかりにして

第二章 鎌倉期の年号勘申者の家と公武政権

第三章 年号勘文より見た南北朝期における朱子学を受容

第四章 中世前期の武家の蔵書と読書

福島金治

〈著〉

（ふくしま・かねはる）一九五三年生まれ。愛知学院大学名誉教授。専門は日本中世史。著書に「金沢北条氏と称名寺」（吉川弘文館、一九九七年）、「安達泰盛と鎌倉幕府——霜月騒動とその周辺」（有隣堂、二〇〇六年）、「学芸と文芸——生活と文化の歴史学」（編著、竹林舎、二〇一六年）、論文に「中世前期の茶の受容」（永井晋編『中世日本の茶と文化』アジア遊学二五二、勉誠出版、二〇二〇年）などがある。

定価 11,000円・本体10,000円
A5判・上製カバー装・392頁
2026年5月刊行
ISBN978-4-585-32098-2 C3021

書名	冊数
中世前期の武家の学問と交流 ——金沢文庫本と称名寺聖教 福島金治〈著〉	定価 11,000円・本体10,000円 A5判・上製カバー装・392頁 2026年5月刊行 ISBN978-4-585-32098-2 C3021
冊	
送付先住所・氏名(通信欄)	

論究 日本近代語 第4集

日本近代語研究会 [編]

広義の日本近代語における歴史と構造を、
文字・表記、文法、語彙、表現、対照研究等の
日本語学的観点から詳細に考究した、
日本文学、日本史学、日本語教育学、
表現論などの分野にも資する論文集。

日本近代語研究会

(にほんきんだいごけんきゅうかい)

1982年に「青年近代語研究会」として発足した(1984年1月から「近代語研究会」、2011年5月から現在の名称)、広い意味での近代語(室町時代以降の日本語)に関する研究者の集まり。年十回の研究発表会および『論究日本近代語』刊行の事業を行う。

定価 **19,800**円(本体価格 18,000円)

A5判上製カバー装・528頁
ISBN978-4-585-38524-0 C3081
2026年4月刊行

【好評既刊】

論究 日本近代語 第1集 第2集 第3集

日本近代語研究会 [編]

第1集 424頁・ISBN978-4-585-28521-2・C3081・2020年3月刊行(品切)

第2集 368頁・ISBN978-4-585-28522-6・C3081・2022年3月刊行

第3集 368頁・ISBN978-4-585-38523-3・C3081・2024年4月刊行

各定価 **16,500**円
(本体価格 15,000円) A5判上製カバー装

第4集【目次】

『真字熟田本平家物語』における用字法——「忍」と「急」を中心に ■玉村禎郎
『節用集』と中世日本語 ■今野真二
“従来の「-み」とは何か?—CHJによる「-み」派生名詞の実態調査 ■宮内佐夜香
「到底」の史の変遷と変化のメカニズム——「到頭」との対照を兼ねて ■姚堯
「を好きダ」構文の発生過程 ■山田昌裕
「喜ぶ」の格体制変遷の考察 ■松野美海
中世末期・近世期のトキ節複文におけるテンス形式と事態の順序 ■末吉勇貴
キリシタン文献・ローマ字本の分かち書き方針変更の一要因 ■千葉軒士
漢語「視線」「視点」の成立 ■奥山光
江戸語の事情推量 ■鶴橋俊宏
近世後期江戸語における「お〜だ」
——ル形・タ形に言い換えられる場合の明治期との違い ■山田里奈
『同文通考』の4つの写本と版本の漢字字体の比較 ■田村夏紀
『書言字考節用集』が見出しとしている2字の漢字列について ■川野真侑
組合せ本『倭訓栞』と伴信友の接点 ■小野春菜
『類聚紅毛語訳』の編纂方法の再検討(続編)——辞書・単語集以外の参照資料 ■櫻井豪人
『薩摩辞書』で漢語のルビになった西洋語の——考察 ■三好彰
『倍因氏心理新説釈義』の訳語の性格について——『哲学字彙』(初版、再版)との比較 ■李穩
音声言語と速記符号の対応関係
——明治期の速記教本を中心に ■アルベケル・アンドラーシ・ジグモンド
三宅花圃『藪の鶯』の会話文 ■田貝和子
近現代における和語動詞の一語一表記化 ■高橋雄太
「食材」の成立と展開 ■橋本行洋
接続表現とテキストジャンル——近代の演説を中心に ■川島拓馬
活字オノマトペと描き文字オノマトペ——少年漫画雑誌の経年調査から ■陳萍
昭和20・30年代の『文藝春秋』「目・耳・口」欄に見る「若者言葉」
——「雑誌記事データベース」活用の一例として ■新野直哉
新聞における「立ち上げる」の用語意識
——『朝日新聞』『読売新聞』『毎日新聞』の比較から ■谷藤寛信
鮎川哲也『ペトロフ事件』の改稿で消えた〈アルヨことば〉
——その意味するところ ■岡田祥平
「完食」の語史 ■谷口悠
程度を表す「XほどY」という構文の特徴——Xが名詞の場合 ■石出靖雄
程度副詞の枠組み——リッカー尺度を用いて ■榎橋比早子
必須のネ、任意のネ ■栗田岳
終助詞「ものか」「もんか」の意味と使用傾向 ■北澤尚
辞書をデータベースにして読む ■豊島正之
索引／執筆者一覧
編集後記 ■編集委員会

書名	部数
論究 日本近代語 第4集 日本近代語研究会 [編]	部
定価 19,800 円(本体価格18,000円) A5判上製カバー装・528頁 2026年4月刊行 ISBN978-4-585-38524-0 C3081	
ご送付先ご住所・氏名(通信欄)	

論究 日本近代語 第3集

日本近代語研究会 [編]

広義の日本近代語における歴史と構造を、
文字・表記、文法、語彙、表現、対照研究等の
日本語学的観点から詳細に考究した、
日本文学、日本史学、日本語教育学、
表現論などの分野にも資する論文集。

日本近代語研究会

(にほんきんだいごけんきゅうかい)

1982年に「青年近代語研究会」として発足した(1984年1月から「近代語研究会」、2011年5月から現在の名称)、広い意味での近代語(室町時代以降の日本語)に関する研究者の集まり。年十回の研究発表会および『論究日本近代語』刊行の事業を行う。

定価 16,500円(本体価格 15,000円)

A5判上製カバー装・424頁
ISBN978-4-585-38523-3 C3081
2024年4月刊行

【好評既刊】

論究 日本近代語 第1集 第2集

日本近代語研究会 [編] 各定価 16,500円
(本体価格 15,000円)

第1集

A5判上製カバー装・424頁
ISBN978-4-585-28521-2
C3081
2020年3月刊行

第2集

A5判上製カバー装・368頁
ISBN978-4-585-28522-6
C3081
2022年3月刊行

第3集【目次】

- チラス・チラカス考—接尾語的用法の史的展開—■島田泰子
ひまわり語彙小考■荒尾禎秀
上方・大阪方言の卑罵語オル・ヨルの変化について
—中世末期以降の行為指示表現に注目して—■西谷龍二
鷲流狂言台本忠政本の行為要求表現
—虎明本・狂言六義との対照を通して—■八坂尚美
近世前期恒常条件の再理解■矢島正浩
助動詞の用法記述における「確述」「強意」の史的展開■久保証子
江戸時代後期版本における草書体の漢字列の特徴について
—『金花七変化』を中心に—■内田久美子
明治期文学作品における「丁寧」と「否定」の文法カテゴリーを含む
述語部の構造■許哲
大阪版『改正増補英語箋』(卜部氏訳)における『仏語箋』の利用■櫻井豪人
2つの『広益熟字典』■今野真二
F. エヴラール『日本語教程』(1874年刊)の人称代名詞■岸本恵実
若松賤子訳『小公子』の「文末ハ」■栗田岳
『尺牘双魚』『行厨集』果品・穀食語彙の明治期における展開
—水晶(スイカ)・仙餌(マンジュウ)を中心に—■園田博文
近代日本の中国語会話書における程度副詞の日中対照研究
—明治後期を中心に—■金敬玲
国定教科書にみる近代の「レル敬語」■高橋圭子・東泉裕子
<ざあます言葉>と呼ばれる言葉遣いに対する眼差し
—「国立国会図書館デジタルコレクション」を利用した調査結果から—■岡田祥平
『全国小学児童綴方展覧会』採録植民地期台湾系児童「綴方」における
「れる」「られる」使用の諸相■上出大河
虚構の中の話し言葉について—虚構度・創作度・脚色度—■安井寿枝
言語行為へのローカル文法的アプローチ
—日本語の拒否表現をテーマとして—■陳慧玲・劉乙亭
格助詞性複合辞の連体用法に関する考察
—法律条文を中心に—■丁文靜
丁寧体過去形式「～かったです」について
—「国会会議録検索システム」を例として—■神作晋一
応答表現としての「たしかに」の意味・用法■菊宿紀子
ビジネスドラマにおける依頼表現
—上下関係・話し手の性別・聞き手の性別による影響—■茅桂英
少年漫画で使用される技法要素が内包する役割■葉袋優貴
頻度を表す副詞の程度性—「十年に一度の」を例に—■榎橋比早子
索引／執筆者一覧
編集後記■編集委員会

書名	部数
論究 日本近代語 第3集	
定価16,500円(本体価格15,000円) A5判上製カバー装・424頁 2024年4月刊行 ISBN978-4-585-38523-3 C3081	
日本近代語研究会 [編]	部
ご送付先ご住所・氏名 (通信欄)	

Crypto-Kirishitan Relics in Japan

潜伏切支丹遺物考

Hidesaburo SUZUKI

鈴木秀三郎

〈著〉

在庫僅少
—限定—
50部

明治期のジャーナリストであり、潜伏キリシタンの研究者でもあった鈴木秀三郎。本書は、彼が日本における宗教迫害の実態を広く海外に紹介する目的で、すべて英文で執筆したものである。彼が研究にあたって収集した遺物および関連資料52点の写真を掲載し、解説を付す。あわせてキリシタン迫害の概観をまとめた論考を収載。

宗教的不寛容のもとで製作・保護・活用されてきた、特異な信仰の形態を紹介する貴重書。

CONTENTS

FOREWORD

I. INTRODUCTION : A GENERAL HISTORY OF THE KIRISHITAN AND THEIR PERSECUTION

II. CRYPTO-KIRISHITAN RELICS IN JAPAN

III. PHOTOGRAPHIC ILLUSTRATIONS

PART I: OPEN-TYPE RELICS (1549-1638)

PART II: SECRET-TYPE RELICS (1639-1873)

APPENDIX : EXAMPLES OF HISTORICAL DOCUMENTS

鈴木秀三郎略伝

あとがき…鈴木武夫

定価 6,600円・本体6,000円
B5判・上製カバー装・82頁
2025年4月刊行
ISBN978-4-585-32097-5 C3020

執筆者紹介 鈴木秀三郎

1893年、名古屋生まれ。社会主義者・住谷悦治らと民本主義者・吉野作造に師事。プロレタリア文学者・藤森成吉と同じ空気を吸う。パリ遊学をきっかけに、現代社会の「前衛」(先端)を多くの雑誌記事で紹介するとともに、古版新聞や雑誌、潜伏切支丹遺物の収集にも尽力した。



本書は1975年に遺族の手によって書籍化された私家版を頒布するものです。広く海外での研究に資することを意図し、全文英文にて構成されております。経年の劣化(ヤケ・傷み)がございましたことを何卒ご容赦ください。

書名	冊数
Crypto-Kirishitan Relics in Japan 潜伏切支丹遺物考 Hidesaburo SUZUKI / 鈴木秀三郎〈著〉	冊 定価 6,600円・本体6,000円 B5判・上製カバー装・82頁 2025年4月刊行 ISBN978-4-585-32097-5 C3020
ご氏名/ご送付先ご住所 (通信欄)	

株式会社勉誠社

※上記注文書にご記入の上、お近くの書店あるいは勉誠社宛にお申し出ください。
東京都千代田区神田三崎町2-18-4 TEL.03-5215-9021 <https://bensei.jp/>

FAX 03-5215-9025

訓点語学会 [編]

平安時代初期から日本において漢文に記入されて来た古訓点を中心に、
広く国語史・文体史・古辞書等の研究をする人々の団体。

くんでんごとくんでんしりょう

訓点語と訓点資料

第一五六輯

一九五四年の刊行以来、**訓点資料**、**訓点語(漢文訓読語)**をはじめ、
文体史、音韻史、辞書史などに関する論文、資料紹介、解説文、索引など、
これまでに約500編を公表、広く利用されている学術雑誌。年2回刊行。

[目次]

小特集 キリシタン資料研究の現在

「キリシタンと出版」拾遺……………豊島正之

『ラポ日辞書』から『羅日辞書』へ——日本語改訳を中心に……………岸本恵美

定訓論再考——落葉集と『日本国語大辞典』……………白井純

ロドリゲス『日本大文典』における日本側の語学知識について

——「上清めば下濁る、下清めば上濁る」を中心に……………山田昇平

キリシタン版『日葡辞書』の接続詞omについて

——『邦訳日葡辞書』と『日葡辞書』原文の比較から……………中野遙

キリシタン版及びバレット写本に見える行間の書入れ線に就いて

——終助詞ゾを中心に……………黒川茉莉

十一世紀における漢字仮名交じり文について

——大御室性信の口決資料を手懸かりとして——

付『阿弥陀口決』翻字本文……………宇都宮啓吾

和化漢文の間接疑問文……………山本久

近世前期中上方語の行為要求表現体系と話し手の階層

——近松世話浄瑠璃からみる……………手塚美希

室町期謡本における
特殊モーラ・拗音への節付について(上)……………浅田健太郎

第一三三回訓点語学会研究発表会発表要旨

彙報

訓点語学会会則

訓点語学会機関誌「訓点語と訓点資料」投稿規程

訓点語と訓点資料

定価 4,950 円(本体価格 4,500 円)

B5判・並製・224頁
ISBN978-4-585-38102-0 C3380
2026年3月刊行

出版元変更のお知らせ

前輯の第一五五輯より、出版元が勉誠社に変更となりました。引き続きご愛読のほど、何卒宜しくお願い致します。

《定期のお申込をいただいている書店様へ》
一五四輯の搬入時に、汲古書院様ならびに当社より版元変更のご連絡をさせていただいておりますが、今後定期改正等のご連絡は、勉誠社宛にお願い致します。

《バックナンバーについて》
勉誠社へ直接ご用命くださいませ。詳細ご相談させていただきます。

書名	部数
訓点語と訓点資料 第一五六輯 訓点語学会 [編]	定価 4,950 円(本体価格 4,500 円) B5判・並製・224頁 2026年3月刊行 ISBN978-4-585-38102-0 C3380
ご送付先ご住所 (通信欄)	

訓点語学会「編」

平安時代初期から日本において漢文に記入されて来た古訓点を中心に、広く国語史・文体史・古辞書等の研究をする人々の団体。

くんでんごとくんでんしりよう

訓点語と訓点資料

第一五五輯

一九五四年の刊行以来、訓点資料、訓点語(漢文訓読語)をはじめ、

文体史、音韻史、辞書史などに関する論文、資料紹介、解説文、索引など、

これまでに約500編を公表、広く利用されている学術雑誌。

年2回刊行。

「目次」

京都国立博物館蔵『梵字形音義』カラー口絵

京都国立博物館蔵『梵字形音義』―解題と影印―……………宇都宮啓吾

高知県安田八幡宮蔵『大般若波羅蜜多經』の訓点と注記……………佐々木 勇

漢字音の認定と字音仮名遣いをめぐって……………石山裕慈

副詞「一向」の史的变化と変化のメカニズム……………姚堯

呉語系中国資料の日本語音写にみられる

陰声韻と入声韻の転換……………王 竣磊

第一三二回訓点語学会研究発表会発表要旨

彙報

令和六年度会計報告

令和六年度予算

訓点語学会会則

訓点語学会機関誌「訓点語と訓点資料」投稿規定

出版元変更のお知らせ

第一五五輯より、出版元が勉誠社に変更となりました。引き続きご愛読のほど、何卒宜しくお願致します。

《定期のお申込をいただいている書店様へ》

一五四輯の搬入時に、汲古書院様ならびに当社より版元変更のご連絡をさせていただいておりますが、今後定期改正等のご連絡は、勉誠社宛にお願い致します。

《バックナンバーについて》

勉誠社へ直接ご用命くださいませ。詳細ご相談させていただきます。

定価 4,950 円(本体価格 4,500 円)

B5判・並製・176頁
ISBN978-4-585-38101-3 C3380
2025年10月刊行

書名	部数
訓点語と訓点資料 第一五五輯 訓点語学会【編】	定価4,950円(本体価格4,500円) B5判・並製・176頁 2025年10月刊行 ISBN978-4-585-38101-3 C3380
ご送付先ご住所(通信欄)	

訓点語と訓点資料

細川家史料と史跡が伝える

近世初期キリシタンの

信仰と 逡巡

禁教をめぐる
群像

稲葉継陽 〔編〕

(いなば・つぐはる) 一九六七年生まれ。熊本大学永青文庫研究センター教授。専門は日本中世史・近世史。主な著書に『日本近世社会形成史論―戦国時代論の射程―』(校倉書房、二〇〇九年)、『細川忠利―ポスト戦国世代の国づくり―』(吉川弘文館、二〇一八年)、『村と民衆の戦国時代史―藤木久志の歴史学―』(勉誠社、二〇二二年)、『清水克行と共編著』、『近世領国社会形成史論』(吉川弘文館、二〇二四年)などがある。

世界文化遺産にもなった潜伏キリシタンの歴史と実像を知るための貴重なガイドブック！

過酷な状況下にあった戦国動乱期以降の日本社会や共同体の形成と変容を考えると、一六世紀末におけるキリスト教の爆発的拡大と一七世紀の禁教の問題は、見落とすことの出来ない重要なテーマである。信仰と禁教の間で、庶民たちは、そして領主や家臣たちは、何を考え、どのように動いたのか――細川家に伝来したキリシタンの動向と禁教政策の実態を示す文書・記録資料を紐解き、各地の貴重な史跡と共に分析・解説。名もなき信仰者や弾圧者たちの心性を探ることと一七世紀の社会と人間を描き出す。

はじめに……稲葉継陽

第I部 細川キリシタン群像……稲葉継陽・鬼束実里

第1回 禁教令と「転び証文」

十字章の墓旧領にひっそりと

「転び」と「立ち帰り」

信仰の深さ 仮想現実で体感

細川忠興と加賀山隼人

小倉教会に残る信仰の証

転ばぬ重臣 小笠原玄也

宗派の垣根越えて祈り

密告賞金制度がもたらしたものの

国際港下の信仰足跡残る

弾圧に芽生えた救い

仏教徒と一緒に申す

「天草四郎」の実像

島原へと続く静かな有明海

天草キリシタン 郡浦潜入事件顛末

数百年前の息遣い 今も

第9回 南有明海域の反乱

一揆戦の火ぶた切られる

一揆からの脱出者たち

交通の要所にきわった宿場町

原城総攻撃前夜

丘陵の城目と鼻の先で対峙

救いなき殺戮の戦場

破壊された城跡 大量の白骨

原城攻めへの住民動員

石碑に託した平和への願い

「四郎首」取った陳佐左衛門

一揆の痕跡 玉名の干拓地史に

四郎が最期迎えた「家跡」

大友宗麟三男・松野半斎の生涯

死を目前に最後の祈り

「天草五人衆」の子孫たち

南蛮文化繁栄 戦争の拠点にも

第17回 孤立無援な「デウスの御代」

一揆勢の様子 発掘で浮き彫り

島原・天草一揆が日本歴史に残したもの

四〇〇年続く供養 平和の尊さ問う

牢屋のキリシタンたち

あの世との境目 高麗門

一庶民キリシタンの物語

「団子地蔵」今生の別れ惜しむ

第II部 論考篇……細川家のキリシタン史料

キリシタン重臣加賀山隼人と

細川忠興……稲葉継陽・後藤典子

細川家文書にみる近世初期キリシタン穿鑿の実態

――金川惣左衛門同類の穿鑿一件……後藤典子

あとがき……稲葉継陽

書名

細川家史料と史跡が伝える
近世初期キリシタンの信仰と逡巡——禁教をめぐる群像
稲葉継陽〔編〕

定価3,850円・本体3,500円
A5判・並製・カバー装・216頁
2026年3月刊行
ISBN978-4-585-32091-3 C1021

冊数

冊

ご氏名/ご送付先ご住所 (通信欄)

株式会社 勉誠社

※上記注文書にご記入の上、お近くの書店あるいは勉誠社宛にお申し出ください。
東京都千代田区神田三崎町2-18-4 TEL.03-5215-9021 <https://bensei.jp/>

FAX ● 03-5215-9025

慶應義塾図書館所蔵

原本

やつしう
にっき

八代日記

原色影印と翻刻

肥後国の大名相良氏の家臣による年代記として著名な史料「八代日記」。同書は、これまで謄写本およびその翻刻のみが知られるものであったが、記録類の乏しい中世九州の史料として貴重なものであるだけでなく、中近世移行期の大名権力論や法制史の研究において重要な材料として盛んに利用されてきた。

しかし、近年、その原本の存在が明らかになった。さらに原本の紙背や挿入紙には多数の新出の古文書が残されていた。――。

原本「八代日記」およびその紙背文書・挿入文書の全編をフルカラーで収録。さらには翻刻、詳細な解題、索引を付した決定版。

本書の構成

序言——中島圭一

凡例

原色影印

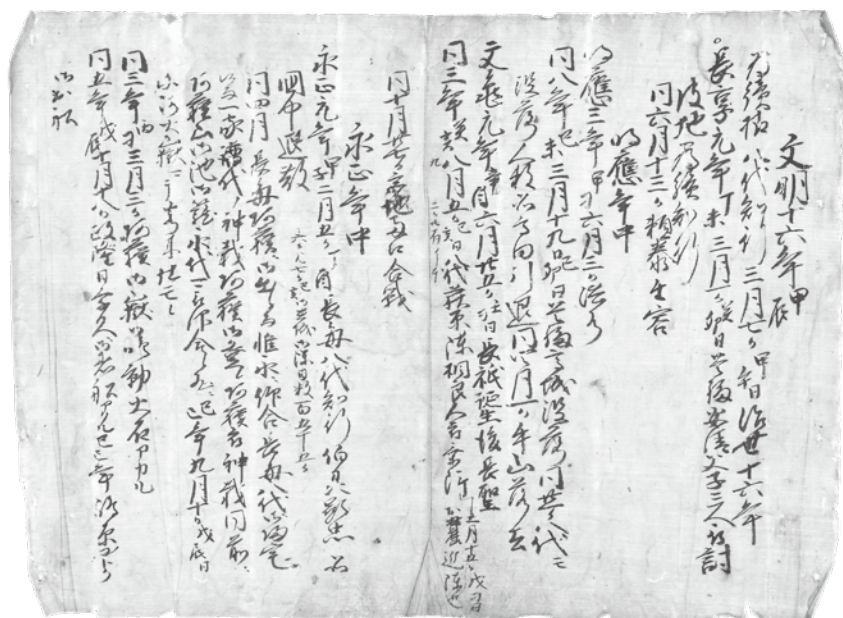
日記翻刻

紙背・挿入文書翻刻

解題——丸島和洋

索引

人名／地名・寺社名・事項



定価 **19,800**円・本体18,000円
B5判・上製カバー装・440頁
2026年1月刊行
ISBN978-4-585-32087-6 C3021

中島圭一

〈編〉

（なかしま・けいいち）——慶應義塾大学文学部教授。専門は日本中世史。編著書に『十四世紀の歴史学』（高志書院、二〇一六年）、『日本の中世貨幣と東アジア』（アジア遊学二七三）、勉誠社、二〇二二年）、主要論文に「中世貨幣」成立期における朝廷の渡来銭政策の再検討（『日本史研究』六二二、二〇一四年）、「中世経済を俯瞰する」（高橋典幸・五味文彦編『中世史講義』ちくま新書、二〇一九年）などがある。

<p>書名</p> <p>慶應義塾図書館所蔵</p> <p>原本「八代日記」—原色影印と翻刻</p> <p>中島圭一〈編〉</p>	<p>冊数</p> <p>冊</p>
<p>ご氏名／ご送付先ご住所（通信欄）</p>	

定価 **19,800**円・本体18,000円
B5判・上製カバー装・440頁
2026年1月刊行
ISBN978-4-585-32087-6 C3021

小林祥次郎 〓 解題

(こばやししょうじろう) 昭和十三年二月、栃木県栃木市に生まれる。昭和三十五年三月、東京教育大学文学部文学科卒業。平成十三年三月、小山工業高等専門学校教授を退官。主要著書に、『書言字考節用集 研究並びに索引』(中田祝夫と共著、風間書房、同改訂新版、勉誠出版)、『季語再発見』(小学館)、『日本のごとば遊び 新装増補版』(以下すべて勉誠出版)、『梅と日本人』、『日本古典博物事典 動物篇』、『くいのもの―食の語源と博物誌』、『人名ではない人名録―語源探索』、『仏教からはみだした日常語―語源探索』、『遊びの語源と博物誌』、『季語をさかのぼる』など。

江戸時代の 図説事典

K I N M O - Z U I

さんもうずい

訓蒙図彙

江戸時代に作られた
わが国最初の絵入り百科事典！

江戸時代初期、寛文六(一六六六)年刊の、わが国最初の図説事典の初版初刷り本を復刻。日本の博物学の歴史に輝く名著として名高く、後続の絵入り事典の模範となった。総語彙数約八千語を収録し、日本語・日本文学、風俗史、博物学史の有力資料であり、一四八四点におよぶ精緻な図は、今日でも図版やデザイン画として様々に利用できる。

二〇二二年に刊行し、好評を得た『江戸のイラスト辞典 訓蒙図彙』が、装いも新たに刊行！



● 影印

訓蒙図彙―第一〜五冊

- 天文 禽鳥
- 地理 龍魚
- 居処 虫介
- 人物 米穀
- 身体 菜蔬
- 衣服 瓜蒞
- 宝貨 樹竹
- 器用 花草
- 畜獸

● 「訓蒙図彙」解題と索引
索引

定価 11,000円・本体10,000円
菊判・並製カバー装・1168頁
2025年10月刊行
ISBN978-4-585-30019-9 C3001

<p>書名</p> <p>江戸時代の図説事典 訓蒙図彙</p> <p>小林祥次郎〈解題〉</p>	<p>冊数</p> <p>定価 11,000円・本体10,000円 菊判・並製カバー装・1168頁 2025年10月刊行 ISBN978-4-585-30019-9 C3001</p> <p>冊</p>
<p>ご氏名／ご送付先ご住所 (通信欄)</p>	

日本人の読書

新装版

古代・中世の学問を探る

佐藤道生 [著]

人びとは何を読み、
どのように学んできたのか――

古代・中世の日本において、

書物を読み、解釈し、伝えていくことは、

限られた人びとにのみ許される特権的な営みであった。

特に中国大陸ないしは朝鮮半島経由で伝えられた

漢籍(漢語で書かれた書物)は、国家を支える政治や法、

さらには思想や文化体系を伝える最先端のものとして重要視された。

中国の文化全般を学ぶことを目的とした

これらの学問――漢学――は、国家の制度のなかにも位置付けられ、

それを担う家では、書写・刊行された諸種の漢籍を入手し、

独自の学問を形成していった。

書物に残された注釈の書き入れ、来歴を伝える識語、

古記録や説話に残された漢学者の逸話など、

漢籍の読書の高まりをいまに伝える諸資料から

古代・中世における日本人の読書の歴史を明らかにする。

貴重資料の
収録点数
総50超!

※本書は『日本人の読書』
(二〇一三年九月刊行)の新装版です。

目次

カラー口絵

◎本編

第一章 古代・中世 日本人の読書

第二章 日本に現存する漢籍古写本
――唐鈔本はなぜ読み継がれたのか

第三章 古代・中世 漢文訓読史

第四章 平安貴族の読書

第五章 藤原道長の漢籍蒐集

第六章 藤原兼実の読書生活――『素書』と『和漢朗詠集』

第七章 養和元年の意見封事
――藤原兼実「可依変異被行撰災事」を読む

第八章 『論語疏』中国六世紀写本の出現

第九章 平安時代に於ける『文選集注』の受容

第十章 金澤文庫本『春秋経伝集解』奥書の再検討

第十一章 室町後期に於ける『論語』伝授の様相
――天文版『論語』の果たした役割

第十二章 清原家の学問と漢籍
――『論語』を例として訓点と注釈書との関係を考える

第十三章 吉田家旧蔵の兵書
――慶應義塾図書館蔵『七書直解』等の紹介を兼ねて

第十四章 「佐保切」追跡
――大燈国師を伝称筆者とする書蹟に関する考察

第十五章 伝授と筆耕――呉三郎入道の事績

第十六章 『古文孝経』永仁五年写本の問題点

第十七章 猿投神社の漢籍古写本
――『史記』『春秋経伝集解』の書写者を探る

◎附 篇

第十八章 「朝野群載」卷十三の問題点

第十九章 日本漢学史上の句題詩

第二十章 「本朝麗藻」所収の積奠詩――句題詩の変型として

第二十一章 藤原有国伝の再検討

第二十二章 大江匡房と藤原基俊

第二十三章 大江匡房の著作と『新撰朗詠集』

第二十四章 平安後期の文章得業生に関する覚書

第二十五章 「玉葉」に見られる課試制度関連記事の検討

第二十六章 平安時代の詩宴に果たした謝霊運の役割

あとがき／初出一覧／図版一覧／索引

本書ではじめてフルカラー公開する資料

『清涼山伝』／『文選集注』卷七断簡／『文選集注』卷百十一断簡

金澤文庫本『文選集注』卷六十二残簡／『佐保類切』『施氏七書講義』断簡

『佐保類切』『施氏七書講義』残簡／『道德経切』『老子道德経』断簡

著者プロフィール

佐藤道生(さとう みちお)

一九五五年生まれ。慶応義塾大学名誉教授。専門は古代・中世日本漢学。主な著書に『平安後期日本漢文学の研究』(笠間書院、二〇〇三年)、『三河鳳来寺旧蔵曆応二年書写和漢朗詠集影印と研究』(勉誠出版、二〇一四年)、『句題詩論考――王朝漢詩とは何ぞや』(勉誠出版、二〇一六年)、『玉葉』に見られる課試制度関連記事の検討(『変革期の社会と九条兼実――『玉葉』をひらく』勉誠出版、二〇一八年)などがある。

書名	部数
日本人の読書 新装版 古代・中世の学問を探る 佐藤道生 [著]	部
ご送付先ご住所・氏名 (通信欄)	

定価 11,000 円(本体 10,000 円)
A5判・並製カバー装
520頁+カラー口絵16頁
ISBN978-4-585-39047-3 C3091
2024年12月刊行

藤本幸夫

〔編〕

（ふじもと・ゆきお）富山大学名誉教授、麗澤大学客員教授。専門は朝鮮語学・朝鮮文献学。二〇二一年学士院賞、恩賜賞を受賞。著書に『日本現存朝鮮本研究 集部』（京都大学学術出版会、二〇〇六年）、『日韓漢文訓読研究』（編著、勉誠出版、二〇一四年）、『龍龕手鏡（鑑）研究』（編著、麗澤大学出版会、二〇一五年）、『日本現存朝鮮本研究 史部』（韓国東国大学出版部、二〇一八年）などがある。

書物・印刷・本屋

図版点数
390超

日中韓をめぐると本の文化史

- 第一部 書物のかたち・書物のジャンル
- 第二部 印刷・活字・技術
- 第三部 本屋・商業出版・蔵書

〈本書の特色〉

中国、朝鮮半島、日本に伝播した書物文化は、全国各地に於いて民間の商業出版——坊刻本——の深淵かつ絢爛な世界を形づくっていった。書籍の出版から販売・読書にいたる具体的な諸相、即ち潤筆料・版下・刻版・彫師・摺師・版木・料紙・装幀・本屋・貸本屋・書価・出版部数・流通・読者・版株・印刷術・禁書・和刻・出版統制等々を中心に、書物史研究を牽引する珠玉の執筆者35名による知見を集結、390点を超える図版資料を収載した

- 書物のジャンル、形態、印刷技術、本屋や商業出版の諸相など、日中韓の書物文化史を詳細に記述したレファレンスツールとして最適の百科事典的書籍。
- 書誌学・出版史・印刷史など、書物研究の第一線を走るオールドスターが集結した画期的な一冊。
- 学士院賞、ゲスナー賞、日本出版学会賞、角川源義賞、岩瀬弥助記念書物文化賞等、様々な受賞歴を有する執筆陣が寄稿。
- 390点を超える貴重な図版資料を収載。

日中韓の知の世界を彩る
書物文化を知るためのエンサイクロペディア。

定価一七、六〇〇円（税込）

（本体一六、〇〇〇円）

B5判上製カバー装・八九六頁

二〇二一年六月刊行

ISBN978-4-585-30002-1 C3000

執筆者一覽

- 第一部：佐々木孝浩・柏崎順子・木村八重子・棚橋正博・佐藤至子・鈴木圭一・石上阿希・大久保純一・湯浅淑子・鈴木俊幸・万波寿子・鈴木達彦
- 第二部：住吉朋彦・堀川貴司・長澤孝三・豊島正之・林進・高木浩明・森上修・小秋元段・渡辺守邦・橋口侯之介・永井一彰
- 第三部：鈴木俊幸・塩村耕・長友千代治・岡村敏二・大沼晴暉・大木康・大塚秀高・金文京・上原究一・高橋智・藤本幸夫・李胤錫・全相昱

書名	部数
書物・印刷・本屋 日中韓をめぐると本の文化史	定価17,600円・本体16,000円 B5判上製カバー装・896頁 2021年6月刊行 ISBN978-4-585-30002-1 C3000
藤本幸夫 [編]	部
ご送付先ご住所（通信欄）	

勉誠出版

※上記注文書にご記入の上、お近くの書店あるいは勉誠出版宛にお申し出ください。
東京都千代田区神田三崎町2-18-4 TEL.03-5215-9021 WEBSITE.http://bensei.jp/

FAX●03-5215-9025

新装版

貸本問屋と貸本文化

娯楽的書籍の出版・流通・受容



※本書は二〇二五年刊行の『貸本問屋と貸本文化』(978-4-585-32093-0)の新装版です

定価 9,350円・本体8,500円
A5判並製カバー装・672頁
2026年4月刊行
ISBN978-4-585-32099-9 C3021

江戸時代以降、日本国内における書籍の出版点数は年々増加し、それまで読書と縁のなかつた層へも、次第に書籍が行き渡るようになっていった。しかし、当時の書籍はそれほど安価でなく、蔵書として代々引き継がれていくだけの価値を有する学問的な書籍以外、たとえば娯楽的な読み物などを購入して読む人々はそう多くなかつた。

そのような娯楽的書籍の流通・受容を支えたのが貸本文化である。近世・近代に営業していた貸本屋の実態、また、貸本向けの書籍を出版・蔵版し、それらを卸す機能を有した貸本問屋の業態を、諸種の史料を用いて解明。「貸本問屋↓貸本屋↓読者」という

娯楽的書籍の出版・流通・受容の全容を明らかにする意欲作。

即完売につき、待望の普及版を刊行!

松永瑠成

著

(まつなが・りゅうせい)一九九四年生まれ。国学院大学文学部日本文学科卒業。中央大学大学院文学研究科国文学専攻修士後期課程修了。博士(文学)。現在は筑波大学図書館情報メディア系特任助教。専門は近世・近代日本における出版文化および貸本文化に関する研究。主な論文に「文化年間における書籍業界の変動―江戸貸本屋組合の成立を手がかりとして」(『文学・語学』二四四号、二〇二五年)、「江戸・大坂における貸本屋組合の成立」(『近世文芸』二一八号、二〇二三年)など、著書に『ブックレット』(書物をひらく)37 明治の貸本屋さん(平凡社、二〇二六年)がある。

序章

第一部 貸本問屋の史的展開

- 第一章 江戸・大坂における貸本屋組合の成立
- 第二章 丁子屋平兵衛の躍進
―貸本屋世話役から貸本問屋へ―
- 第三章 中本受容と大島屋伝右衛門
- 第四章 大島屋伝右衛門と池田屋一統
―売薬「処女香」を端緒として―
- 第五章 黎明期の初代大川屋錠吉
- 第六章 赤本屋としての初代大川屋錠吉

第二部 貸本問屋の出版書目

- 第一章 丁子屋平兵衛出版書目年表稿
附 『書林文深堂蔵版目録』
『東都書林文深堂蔵版』
中形絵入よみ本之部目録
- 第二章 大島屋伝右衛門出版書目年表稿
附 『書林文永堂蔵版目録』
- 第三章 初代大川屋錠吉出版書目年表稿
附 『第二十三回大川屋出版部総目録』
(明治三十二年八月改正増訂)

第三部 貸本文化の変容とその諸相

- 第一章 貸本屋の諸相
- 第二章 誠光堂池田屋清吉の片影
- 第三章 近代金沢における書籍受容と春田書店
終章

あとがき・索引

書名	冊数
新装版 貸本問屋と貸本文化 娯楽的書籍の出版・流通・受容 松永瑠成(著)	冊
定価 9,350円・本体8,500円 A5判並製カバー装・672頁 2026年4月刊行 ISBN978-4-585-32099-9 C3021	
ご送付先ご住所(通信欄)	

株式会社 勉誠社

※上記注文書にご記入の上、お近くの書店あるいは勉誠社宛にお申し出ください。
東京都千代田区神田三崎町2-18-4 TEL.03-5215-9021 <https://bensei.jp/>

FAX 03-5215-9025

国宝「三十帖冊子」 修理から見えてきたもの

さんじゅうじゅう
さうし



最新の仏教学を学ぶために唐に渡った弘法大師空海が、当地の仏教經典・儀軌類を書写し、日本に隨身秘蔵してきた冊子本、国宝「三十帖冊子」。第六世守覚法親王の時代より京都・仁和寺にて尊ばれ、伝持されてきた同書は、空海の入唐中の学問のありかたを伝える密教将来の至宝として、また、空海や橘逸勢ほか、多くの唐の写経生がその書写に関わり、かつ冊子のかたちとして最も古い装訂とされる。粘葉装（ねんえいそう）の日本最古の例として、文化財としても特筆すべき意義を有している。国宝「三十帖冊子」は、どのように守られ、伝えられてきたのか。六か年の歳月をかけて行われた修理の全容と、それによって見えてきた新知見を多くのカラー図版とともに紹介。さらには、「三十帖冊子」の伝来と流転、奈良朝經典訓読や漢籍訓読の諸問題、空海の学問と書、高解像度デジタル顕微鏡による料紙分析と写本学とのコラボレーション、文化財修理のこれまでとこれから等、多角的な観点から「三十帖冊子」を把握する決定版。

掲載図版点数三〇〇点超！

刊行にあたって 総本山仁和寺門跡真言宗御室派管長 瀬川大秀
序言——本書の概要 宇都宮啓吾

第一部 修理・書誌篇

国宝「三十帖冊子」修理報告——修理の概要と調査報告 株式会社松鶴堂
「三十帖冊子」の修理を振り返って 株式会社松鶴堂（書跡担当 課 森川洋子）
「三十帖冊子」の料紙に残された痕跡の伝えるもの
——保存修理の視点から 鈴木裕
装訂や料紙から見た国宝「三十帖冊子」 赤尾栄慶
コラム 空海の書——唐からの贈り物 銅島稲子
「三十帖冊子」を飾る染織品 山川曉
料紙を観る——写本学と光学的調査からのアプローチ
石塚晴通・赤尾栄慶・江南和幸・岡田至弘
コラム 文化財情報のプラットフォーム
金剛寺蔵「梵漢普賢行願讚」をめぐる——宇都宮啓吾

第二部 典籍篇

「三十帖冊子」の借覧と返納をめぐる——武内孝善
「三十帖冊子」の仁和寺移動と仁和寺伝持の歴史 朝川美幸
空海将来経論の書写をめぐる——
「三十帖冊子」に関連して 苦米地誠一
仁和寺蔵「三十帖冊子」の訓点から
観た漢籍訓読の一問題 宇都宮啓吾
典籍保存修理の歩み——昭和から令和へ 鈴木裕

定価 13,200円(税込)

本体 12,000円(+税)

2023年11月刊行

A5判上製カバー装・336頁(カラー160頁)

ISBN978-4-585-31012-9 C3015

総本山仁和寺 監修 宇都宮啓吾 編

(うつのみや・けいご) 1966年生まれ。大阪大谷大学文学部教授。専門は日本語学、仏教典籍学。著書に『四天王寺聖教の世界』(四天王寺宝物館令和三年秋季特別展図録(監修・執筆、四天王寺勧学部、二〇二二年)などがある。

書名	冊数
国宝「三十帖冊子」 修理から見えてきたもの 総本山仁和寺＝監修 宇都宮啓吾＝編	冊
定価 13,200円(税込) 本体12,000円(+税) A5判上製カバー装・336頁(カラー160頁) 2023年11月刊行 ISBN978-4-585-31012-9 C3015	
ご送付先ご住所(通信欄)	

株式会社勉誠社

※上記注文書にご記入の上、お近くの書店あるいは勉誠社宛にお申し出ください。
東京都千代田区神田三崎町2-18-4 株式会社勉誠社 TEL.03-5215-9021 FAX03-5215-9025 <http://bensei.jp/>

慶應義塾大学附属研究所斯道文庫 編

訂正新版

図説

書誌学

古典籍を

学ぶ

「書物」という文化遺産の継承のために

有史以来蓄積されてきた「書物」は、人間の英知・思想・思考・情感といった精神活動が、最も明瞭に集約表出されたかたちで伝承されてきた、学術文芸の遺産である。

この「書物」は、なぜここにこのように存在するのか——「書物」との真摯な対話により、過去から現在、そして未来へと連なる人間の知的営みの一端に自らリンクすることが出来るのである。

定価 三、八五〇円(税込)

本体 三、五〇〇円(十税)

二〇二三年十一月刊行

A4判並製カバー装・総カラー・二二四頁

ISBN978-4-585-30010-6 C1500

※本書は『図説 書誌学』(二〇一〇年初版発行)の訂正新版です。訂正新版刊行に際し、誤字・脱字等の訂正を施しました。



I 書物との対話——書誌学研究所の視点

はじめに——書誌学とは

第一章 本の姿

表紙の役割／紙墨の表情／書物の形／変化する書物

第二章 本の様々

漢籍と和書／漢字と仮名／文字と絵／コトバとモノ

第三章 本の誕生

誕生以前／自筆本／転写本・影写本・臨写本

第四章 本の流通

版下・校正刷り／翻刻本／摸刻本／伝写本

第五章 版本の時代

宋元版／明清版／朝鮮版・越南版／五山版・古活字版／和刻本

第六章 本の再生

付点・書入れ・批評／校合／入門書・工具書

第七章 書誌学の発達

目録学の発達／版本学の発達／考証学と近代

II 斯道文庫の五十年——これまでとこれから

・ 斯道文庫の五十年

・ 書物の収集と保全

・ 椎本文庫／浜野文庫／安井文庫／坦堂文庫／コレディエ文庫／亀井家学文庫／明治仏教史編纂所蔵書／センチユリー文化財団寄託資料／大曾根文庫／河村文庫／平岡文庫／松林桂月文庫／林泰輔自筆稿本類／ガス・パルトス文庫／永島文庫／戸原文庫

・ 斯道文庫年表

・ 斯道文庫蒐書の歴史

・ 出張調査年表

・ 研究事業・研究成果・公開事業

・ 執筆者一覧／書誌学用語索引

本書の特徴

昭和三十五年(一九六〇)の開設以来、書誌学の専門研究所として学界をリードしてきた斯道文庫所蔵の豊富な古典籍の中から、特に書誌学的観点から重要なものを選出、豊富なカラー図版・解説を通覧することで、書誌学の理念・プロセス・技術を学ぶことが出来る。



<p>書名</p> <h2>訂正新版 図説 書誌学</h2> <h3>古典籍を学ぶ</h3> <p>慶應義塾大学附属研究所斯道文庫 編</p>	<p>冊数</p> <p>定価 3,850円(税込)・本体 3,500円</p> <p>A4判並製カバー装・224頁</p> <p>2023年11月刊行</p> <p>ISBN978-4-585-30010-6 C1500</p>
<p>ご送付先ご住所 (通信欄)</p>	

株式会社勉誠社

※上記注文書にご記入の上、お近くの書店あるいは勉誠社宛にお申し出ください。
東京都千代田区神田三崎町2-18-4 株式会社勉誠社 TEL.03-5215-9021 FAX03-5215-9025 <http://bensei.jp/>

楷書の秘密

「字様」が発見されるまで

かいしよのひみつ
じようがはつけんされるまで

五万字以上もある楷書の字形が、
乱れることなく現代まで保たれ続けているのはなぜか――

類似する楷書を広く弁別するために編纂された典籍「字様」。

字書とは異なる性格・構成をもつそれは、

科挙制度とも深く結びつきながら楷書字形のあるべき姿を決めていった。

筆者の発見した典籍『正名要録』『群書新定字様』の精査から浮かんでくる「字様」という概念を紹介する。

また『説文解字』の検討により、楷書の歴史を整理し、字体の規定の有り様を明らかにするとともに、

「楷書」という東アジア漢字文化圏を支える文字体系の解明を目指す。

西原一幸 [著]

(にしはら かずゆき)一九四七年生まれ。

金城学院大学名誉教授。

専門は中国・日本の古代辞書。

主な著書に『唐代字様二種の研究と索引』(大友信一と共著、桜楓社、一九八四年)、『字様の研究――唐代楷書字体規範

の成立と展開』(勉誠出版、二〇一五年)などがある。

もくじ

- 一九七〇年代までの研究状況
- 新資料の出現
- 『干禄字書』と『五経文字』は字様である
- 隋・唐代の弁別体系と字様
- 新資料の出現
- 『干禄字書』の威力
- 石経が採用される理由
- 開成石経と『五経文字』
- 『正名要録』と『顔氏家訓』
- 俗体とは何か――顔元孫と俗体の成立――
- 開成石経と唐玄度撰『新加九经字様』――石経字形はどのようにして決められたか――
- 文宗の最後
- 唐代楷書字体規範からみた『龍龕手鏡』
- 異体字同定上の問題点
- 楷書の秘密

あとがき

定価 四、一八〇円(本体三八〇〇円)

四六判・並製・二〇八頁

二〇二四年二月刊行

ISBN978-4-585-38005-4 C3080

書名	部数
楷書の秘密 「字様」が発見されるまで 西原一幸 [著]	部
定価 4,180円(本体 3,800円) 四六判・並製カバー装・208頁 ISBN978-4-585-38005-4 C3080 2024年2月刊行	
ご送付先ご住所・氏名 (通信欄)	

方言地理学の視界

小林隆・大西拓一郎・篠崎晃一 [編]

定価 8,800 円(本体価格 8,000 円)

A5判上製カバー装・408頁
ISBN978-4-585-38003-0 C3081
2023年5月刊行

ことばの地域差や地理的変異は、 なぜ、どのように成立するのか。

ある方言を他の方言から独立した絶対的な存在であるとみなす方言学に対し、方言はあくまでも連続的な様相を示す相対的な存在であると考え、「方言地理学」。

故・佐藤亮一氏が開拓・提案した方言地理学の理論から、資料の生かし方、記述方言学との融合、文化・社会と方言との関係までを、隣接する民俗学や地理学などにも資する最新の成果を結集し体系的に紹介。

次世代へとつづく方言地理学の視界を照らし、
ひとつの道しるべとなる一冊!

方言学の根幹を問い直す 「方言地理学」の挑戦!

【編者プロフィール】

小林隆 (こばやし・たかし)

東北大学名誉教授。専門は方言学・日本語史。
著書に佐藤亮一・小林隆・大西拓一郎編『方言地理学の課題』(明治書院、2002年)、『方言学的日本語史の方法』(ひつじ書房、2004年)、『語用論的方言学の方法』(ひつじ書房、2023年)などがある。

大西拓一郎 (おおにし・たくいちろう)

国立国語研究所教授。専門は言語地理学・方言学。
著書に『現代方言の世界』(朝倉書店、2008年)、『ことばの地理学——方言はなぜそこにあるのか』(大修館書店、2016年)などがある。

篠崎晃一 (しのざき・こういち)

東京女子大学教授。専門は方言学、社会言語学。
著書に『出身地(イナカ)がわかる方言』(共著、幻冬舎、2011年)、『東京のきつねが大阪でたぬきにばける——誤解されやすい方言小辞典』(三省堂、2017年)、『それいけ! 方言探偵団』(平凡社、2021年)などがある。

【目次】

まえがき

第I部 方言地理学の理論

第1章: 共通語化と方言地理学 ■小林隆・熊谷康雄
第2章: 方言安定期と方言地理学 ■大西拓一郎
第3章: 分布類型、形成類型と地理方言学 ■安部清哉

第II部 方言地理学の資料

第4章: 『日本語地図』と方言地理学 ■岸江信介・峪口有香子
第5章: 『方言文法全国地図』と方言地理学 ■日高水穂
第6章: 『日本方言大辞典』と方言地理学 ■作田将三郎

第III部 記述方言学と方言地理学

第7章: 形態論と方言地理学
——首都圏における対格の変異を例として—— ■小西いずみ
第8章: テンス・アスペクトと方言地理学 ■津田智史
第9章: 可能・自発と方言地理学 ■竹田晃子
第10章: モダリティと方言地理学
——ゴト類の用法の多様性と山口東部方言の禁止の「コト」—— ■船木礼子
第11章: 敬語の言語地理学
——日本語敬語形成論の構築にむけて—— ■中井精一

第IV部 文化・社会と方言地理学

第12章: 民俗語彙と方言地理学——(井戸)を表す語彙—— ■新井小枝子
第13章: 口承文芸と方言地理学——あやしことばの地域差—— ■椎名渉子
第14章: キリシタン文化と方言地理学 ■小川俊輔
第15章: 言葉遊びと方言地理学
——岐阜県・愛知県のチーム分けジャンケン の掛け声を例に—— ■山田敏弘
第16章: あいさつと方言地理学
——他家訪問場面の新旧調査の比較を通して—— ■中西太郎
第17章: 交通と方言地理学 ■都染直也

第V部 方言地理学の新分野

第18章: オノマトペと方言地理学 ■川崎めぐみ
第19章: 感動詞と方言地理学
——品物を手渡す場面における感動詞の地理的分布—— ■田附敏尚
第20章: 言語行動の地域差・山形県東田川郡三川町の事例 ■篠崎晃一
第21章: コンピュータと方言地理学 ■鎌水兼貴

佐藤亮一氏の時代と学問 ■沢木幹栄

佐藤亮一氏略歴
佐藤亮一氏著作一覧
執筆者一覧

書名	部数
方言地理学の視界	
小林隆・大西拓一郎・篠崎晃一 [編]	
定価 8,800 円(本体価格 8,000 円)	
A5判上製カバー装・408頁	
2023年5月刊行	
ISBN978-4-585-38003-0 C3081	部
ご送付先ご住所・氏名 (通信欄)	

勉誠出版

※上記注文書にご記入の上、お近くの書店あるいは勉誠出版宛にお申し出ください。
千代田区神田三崎町2-18-4 TEL.03-5215-9021 WEBSITE.http://bensei.jp/

FAX 03-5215-9025

李銘敬・小峯和明 [編]

日中古典文芸の往還と対話

アジア遊学 318

定価 3,520 円
(本体 3,200 円)

A5判並製カバー装・344頁
ISBN 978-4-585-32564-2 C1390
2026年5月刊行

〔編者プロフィール〕

李銘敬(り・めいけい)
中国人民大学教授、早稲田大学大学院博士課程修了、
博士(文学)。専門は中日仏教説話文学専攻。

小峯和明(こみね・かずあき)
立教大学名誉教授、元・中国人民大学高専外国語専攻、
専門は日本古典文学、東アジア比較説話学。

漢字漢文文化圏に属する日本古典文芸は、中国文化の影響を深く受けており、その形成と発展の過程において、模倣と被模倣、引用と被引用、そして翻訳や借用といった源と流の密接な関係が長く続いてきた。それらの関係性を考えるためには、単なる出典関係を指摘するだけではなく、その基礎的研究を踏まえ、それぞれの文化的内実を掘り下げ、異文化交流における受容のメカニズムや特徴を明らかにする必要がある。多面的な視点から、幅広い分野の作品の源流を丁寧な考証する、意欲的な一冊。

〔目次〕

Ⅰ 古代篇 ― 古典文芸の形成と展開

〔序文〕潮流根源 ― 日本古典文芸研究への新たな試み◎李銘敬
散佚説話からみた『冥報記』説話の生成と特徴◎李銘敬
成尋『参天台五台山記』を読む ― 異文化交流文学の一駒◎小峯和明

〔コラム〕『日本書紀』中巻第三三縁における飛天夜叉説話の受容
―『朝野僉載』『西陽雜俎』『河東記』との比較を通して◎崔鵬偉
『今昔物語集』震旦部卷九の羊軀生譚
―その特徴と位置付けについて◎趙倩倩
漢訳仏典と漢籍の文体差による訓読法の異同
―「不可」を例として◎李競一

Ⅲ 近世・近代篇 ― 古典文芸の環流と再創造

スペインサー本『張良』絵巻における物語化の方法◎向 偉
楊貴妃と鳥 ― 古浄瑠璃『楊貴妃物語』までの文学史小考◎宋春曉
『伽婢子』の『剪灯余話』翻案 ― 『梅花屏風』を中心として◎蔣雲斗
草子類にみえる「南柯の夢」の受容と変容◎虞雪健
『本朝校陰比事』における物語の再創造
―妻に泣する梢の鶯の典拠と変化をめぐって◎鄭一鳴
都賀庭鐘の小説と本草学◎王順鑫
諺の漢訳 ― 近世日本漢文笑話を中心に◎粟野友絵
越境する人面瘡 ― 東アジアにおける医学知識の伝播◎伊 丹
近世読本における李漁戯曲の受容の相違について
―馬琴と雅望を中心に◎任清梅

『近世説美少年録』の白話語彙についての考察◎鄭文君
画家の見た大陸 ― 橋本関雪「南方の構想」を手がかりに◎劉 妍
編集後記◎蔣雲斗
編集後記◎粟野友絵
「あとかぎ」に代えて ― 善き縁に恵まれて
―我が日本留学・研究滞在時に知遇を得た師友記◎李銘敬
銘敬さんに贈る・桜と桃の樹の下で
―あとかぎのあとかぎ◎小峯和明

Ⅱ 中世篇 ― 古典文芸の往還と転位

『蒙求和歌』の巻頭「漢祖龍顔」の生成について◎胡 俊
藤原定家と『答蘇武書』 ― 『明月記』を中心に◎劉春柳
『孟蘭盆経』注釈書と無住の説話世界◎王晉媛
『元亨釈書』『賛論』における体裁内容と仏教史観◎胡照汀
元明期中日交流と偽史言説としての『達磨渡日説』◎司志武
受容の詩学 ― 万里集九『帳中香』の日本変位◎張 麗
唐代の俗講を視座に見る『平家物語』の説話性◎陸晚霞
環境文学としての宇宙樹・円生樹をめぐって◎高 陽
異文化から見る日本の天地開闢神話
―モンタヌス『日本誌』を中心に◎呂雅瓊

〔コラム〕影印本『明刻釈氏源流下巻』をめぐって◎河野貴美子

書 名	部数
日中古典文芸の往還と対話 [アジア遊学318] 李銘敬・小峯和明 [編]	定価3,520円(本体3,200円) A5判並製カバー装・344頁 ISBN978-4-585-32564-2 C1390 2026年5月刊行
ご送付先(氏名・住所・電話番号)	

中川博夫 [著]

北条時広家集 注釈と研究

鎌倉幕府第六代將軍宗尊親王の下で一芸堪能の昼番衆、近習の歌仙としてあつた北条時広（貞応元年（一二二二）～建治元年（一二七五））。冷泉家時雨亭文庫に蔵される時広の家集『故越前々司時広哥』を底本とし、その全編を翻刻し、精緻に注釈。また、研究篇として、家集の成立を考証し、所収歌の様相を考察する論考を収載。鎌倉期関東歌壇の北条氏の数多の御家人歌人の中で、唯一現存する家集の存在意義を明らかにする画期的成果。

目次

緒言

注釈編

『時広集』注釈稿

研究編

第一章 『時広集』の成立

第二章 『時広集』の和歌の様相

初出一覧
初句索引

著者紹介

中川博夫 (なかがわ・ひろお)

1956年生まれ。鶴見大学名誉教授。専門は和歌文学。著書に『中世和歌論—歌学と表現と歌人』（勉誠出版、2020年）、『鎌倉期関東歌壇の研究』（花鳥社、2025年）、論文に「自撰家集としての『中書王御詠』（『日本文学研究ジャーナル』20、2021年）、「鎌倉期関東歌壇と道歌」（『日本文学』71-5、2022年）などがある。

書名	部数
北条時広家集 注釈と研究 中川博夫 [著]	定価 11,000 円 (本体10,000円) A5判・並製カバー装・304頁 ISBN 978-4-585-39060-2 C3095 2026年5月刊行
ご送付先ご住所（通信欄）	

勉誠社

※上記注文書にご記入の上、お近くの書店あるいは勉誠社宛にお申し出ください。
千代田区神田三崎町2-18-4 TEL.03-5215-9021 WEBSITE.http://bensei.jp/

FAX●03-5215-9025

勉誠社 在庫僅少本一覽

在庫有タイトルと同様に、
セール期間中2割引!

日本語学会・訓点語学会会員様向け (2026/5/1現在)

売り切れの際はご容赦ください

Xでも僅少本を定期的にご案内しています! (@benseyzaiko)

メール、FAX、郵送にて、在庫をご照会ください。折り返しご連絡させていただきます。

ISBN	書名	編著者名	発行年月	本体価格	在庫残	ご注文
28201	国宝 史記 夏本紀 秦本紀 東洋文庫善本叢書 1	公益財団法人 東洋文庫 監修/ 石塚晴通・小助川貞次 解題	201409	25,000	19	
28202	重要文化財 ドチリーナ・キリシタン 天草版 東洋文庫善本叢書 2	公益財団法人 東洋文庫 監修/ 豊島正之 解説	201409	14,000	12	
28203	重要文化財 案善録 宋版・円爾旧蔵 東洋文庫善本叢書 3	公益財団法人 東洋文庫 監修/ 會谷佳光 解題	201410	70,000	17	
28204	サクラメント提要 長崎版 東洋文庫善本叢書 4	公益財団法人 東洋文庫 監修/ 豊島正之 解説	201410	57,000	10	
28205	国宝 毛詩/重要文化財 礼記正義 卷第五残巻 東洋文庫善本叢書 5	公益財団法人 東洋文庫 監修/ 石塚晴通・小助川貞次・會谷佳光 解題	201502	26,000	0	
28206	梵語千字文/胎蔵界真言 東洋文庫善本叢書 6	公益財団法人 東洋文庫 監修/ 石塚晴通・小助川貞次 解題	201501	25,000	5	
28207	国宝 古文尚書 卷第三・卷第五・卷第十二/ 重要文化財 古文尚書 卷第六 東洋文庫善本叢書 7	公益財団法人 東洋文庫 監修/ 石塚晴通・小助川貞次 解題	201506	40,000	3	
28208	聖教精華 FLOSCVLI 東洋文庫善本叢書 8	公益財団法人 東洋文庫 監修/ 豊島正之 解説	201506	52,000	15	
28209	国宝 春秋経伝集解 卷第十/ 重要文化財 論語集解 文永五年写 卷第八 東洋文庫善本叢書 9	公益財団法人 東洋文庫 監修/ 石塚晴通・小助川貞次 解題	201507	29,000	8	
28210	天正十八年本 節用集 東洋文庫善本叢書 10	公益財団法人 東洋文庫 監修/ 豊島正之 解説	201509	38,000	11	
28211	重要文化財 論語集解 正和四年写 東洋文庫善本叢書 11	公益財団法人 東洋文庫 監修/ 石塚晴通・小助川貞次 解題	201512	98,000	3	
28212	国宝 文選集注 卷第四十八・第五十九・第六十八・第八十八・第一百十三 東洋文庫善本叢書 12	公益財団法人 東洋文庫 監修/ 石塚晴通・小助川貞次 解題	201510	98,000	7	
28221	ラフカディオ・ハーン、B.H.チェンバレン往復書簡 東洋文庫善本叢書 第二期 1	公益財団法人 東洋文庫 監修/ 平川祐弘 解題	201611	140,000	11	
28222	『東方見聞録(世界の記述)』 1485[?]年刊ラテン語版 東洋文庫善本叢書 第二期 2	公益財団法人 東洋文庫 監修/ 斯波義信 解題	201612	25,000	16	
28223	重要文化財 ジョン・セーリス『日本渡航記』 東洋文庫善本叢書 第二期 3	公益財団法人 東洋文庫 監修/ 平野健一郎 解題	201701	40,000	15	
28505	国宝 西大寺本 金光明最勝王経 天平宝字六年百濟豊虫願経	総本山西大寺 編/ 佐伯俊源・月本雅幸・野尻忠 解題	201309	100,000	4	
03088	和名類聚抄の文献学的研究	林忠勝 著	200204	25,000	3	
03128	中世聖徳太子伝集成(全五巻)	慶應義塾大学附属研究所斯道文庫 編	200505	98,000	5	
03131	阿倍仲麻呂傳研究 手沢補訂本	杉本直治郎 著/神鷹徳治 序/ 氣賀澤保規 解題	200602	28,000	2	
03137	ラホ日辞典の日本語	金沢大学法文学部国文学研究室 編	200505	40,000	2	
03138	仮名遣及仮名字体沿革史料	大矢透 著/中田祝夫・峰岸明 解説索引	200505	18,000	2	
03139	図書寮本類聚名義抄	築島裕 解説/ 橋本不美男・宮澤俊雅・酒井憲二 索引	200505	20,000	2	
03144	狂言六義総索引	東京都立大学中世語研究会 編/ 小林賢次 代表	200511	20,000	2	
10013	狂言記 外五十番の研究	北原保雄・大倉浩 著	199703	32,000	3	
03152	改訂新版 文明本節用集 研究並びに索引	中田祝夫 著	200605	41,000	7	
03153	改訂新版 書言字考節用集 研究並びに索引	中田祝夫・小林祥次郎 著	200605	30,000	3	
03237	改訂新版 古本節用集六種 研究並びに総合索引	中田祝夫 著	200905	43,000	6	
03176	古写本和名類聚抄集成	馬淵和夫 著	200807	65,000	4	
20014	キリシタン版 日葡辞書 カラー影印版	オックスフォード大学ボードレイアン図書館 所蔵/ 月本雅幸 解題	201301	100,000	12	
22071	京都国立博物館所蔵 国宝 岩崎本 日本書紀	京都国立博物館 編/石塚晴通・赤尾栄慶 解題	201401	35,000	12	
22072	京都国立博物館所蔵 国宝 吉田本 日本書紀	京都国立博物館 編/石塚晴通・羽田聡 解題	201402	100,000	14	
22073	京都国立博物館所蔵 国宝 浄名玄論	京都国立博物館 編/石塚晴通・赤尾栄慶 解題	201404	100,000	17	
03215	谷川土清自筆本『倭訓栞』 影印・研究・索引	三澤薫生 編著	200812	28,000	2	
03217	誤解された万葉語	吉田金彦 著	200812	5,000	1	
03219	B.H.チェンバレン『文字のしるべ』 影印・研究	岡嶋裕剛 編著	200812	28,000	2	

03221	三大編纂物 群書類従・古事類苑・国書総目録の出版文化史 改訂版 守覚法親王と仁和寺御流の文献学的研究	熊田淳美 著	200902	3,200	1	
10075	金沢文庫蔵御流聖教 守覚法親王と仁和寺御流の文献学的研究	阿部泰郎・山崎誠・福島金治 編	200010	17,600	3	
10027	仁和寺蔵御流聖教(全2冊)	阿部泰郎・山崎誠 編	199802	42,000	5	
10031	印融自筆本重要文化財 塵袋とその研究(全2冊)	山崎誠 編	199802	37,000	2	
08004	源氏物語 語彙用例総索引 自立語篇	上田英代・村上征勝・今西祐一郎・ 榊島忠夫・上田裕一 編	199412	143,000	2	
10003	源氏物語 語彙用例総索引 付属語篇	上田英代・村上征勝・今西祐一郎・ 榊島忠夫・上田裕一・藤田真理 編	199602	128,000	5	
10004	平家物語 高野本 語彙用例総索引 自立語篇	近藤政美・武山隆昭・近藤三佐子 編	199602	89,000	3	
10026	平家物語 高野本 語彙用例総索引 付属語篇	近藤政美・武山隆昭・池村奈代美・ 濱千代いつみ・近藤三佐子 編	199803	79,000	4	
10043	天草版平家物語語彙用例総索引	近藤政美・池村奈代美・濱千代いつみ 編	199902	80,000	2	
10011	紫式部日記語彙用例総索引 (付録) 附表・紫式部集索引	今西祐一郎・上田英代・村上征勝 編	199702	19,000	2	
10438	延慶本平家物語の日本語史的研究	小川栄一 著	200802	16,500	3	
10033	長門本 平家物語の総合研究 第一巻 校注篇上	麻原美子・名波弘彰 編	199802	29,000	3	
10034	長門本 平家物語の総合研究 第二巻	麻原美子 編	199902	27,000	4	
10061	長門本 平家物語の総合研究 第三巻 論究篇	麻原美子・犬井善寿 編	200002	30,000	3	
10441	長門本平家物語自立語索引	麻原美子・小井土守敏・佐藤智広 編	200902	29,000	4	
3113	長門本 平家物語 一	麻原美子・小井土守敏・佐藤智広 編	200406	2,500	28	
3114	長門本 平家物語 二	麻原美子・小井土守敏・佐藤智広 編	200411	2,500	27	
3115	長門本 平家物語 三	麻原美子・小井土守敏・佐藤智広 共編	200506	2,500	21	
3116	長門本 平家物語 四	麻原美子・小井土守敏・佐藤智広 編	200606	2,500	25	
03067	醍醐寺文書聖教目録 第一巻 第一函～第二〇函	総本山醍醐寺 編	200003	20,000	5	
03096	醍醐寺文書聖教目録 第六巻 第一〇一函～第一三〇函	総本山醍醐寺 編	200303	20,000	8	
03142	醍醐寺文書聖教目録 第二巻 第二一函～第四〇函	総本山醍醐寺 編	200511	20,000	2	
03199	醍醐寺文書聖教目録 第三巻 第四一函～第六〇函	総本山醍醐寺 編	200812	30,000	3	
21039	醍醐寺文書聖教目録 第四巻 第六一函～第八〇函	総本山醍醐寺 編	201704	30,000	3	
22500	枝葉抄 影印・翻刻・註解 醍醐寺叢書 研究篇	総本山醍醐寺 編	201006	20,000	7	
03132	大乘院寺社雑事記紙背文書 第二巻	佐藤進一・笠松宏至・永村眞 編	200602	10,600	16	
10088	大乘院寺社雑事記紙背文書 第一巻	佐藤進一・笠松宏至・永村眞 編	200211	9,800	18	
03160	古今集注釈書伝本書目	慶應義塾大学附属研究所斯道文庫 編	200703	30,000	2	
03165	空海及び白楽天の著作に係わる注釈書類の調査研究 『和漢朗詠集私註』『文筆問答抄』	太田次男 著	200706	40,000	2	
03182	石川県立図書館蔵川口文庫善本影印叢書 2 『江吏部集』『無題詩』	柳澤良一 編	201005	12,000	1	
03183	石川県立図書館蔵川口文庫善本影印叢書 3	柳澤良一 編	201011	12,000	2	
03189	近世人名録集成 影印編	森銃三・中島理壽 編	200807	48,000	4	
03191	僻案抄 古今集注釈書影印叢刊 1	慶應義塾大学附属研究所斯道文庫 監修/ 佐々木孝浩 解題	200810	10,000	2	
03192	古今和歌集註 古今集注釈書影印叢刊 2	慶應義塾大学附属研究所斯道文庫 監修/ 川上新一郎 解題	200812	10,000	0	
29008	古今集素伝懐中抄 古今集注釈書影印叢刊 3	慶應義塾大学附属研究所斯道文庫 監修/ 浅田徹 解題	201010	10,000	1	
03194	古訓密勘註 古今灌頂巻・和調灌頂次第秘密抄・幽旨 古今集注釈書影印叢刊 4	慶應義塾大学附属研究所斯道文庫 監修/ 山本令子・石神秀美 解題	200904	10,000	1	
03195	古今拾穂抄 第一冊・第二冊 古今集注釈書影印叢刊 5	慶應義塾大学附属研究所斯道文庫 監修/ 川上新一郎 解題	200810	10,000	2	
03196	古今拾穂抄 第三冊・第四冊 古今集注釈書影印叢刊 6	慶應義塾大学附属研究所斯道文庫 監修/ 川上新一郎 解題	200810	10,000	2	
03197	古今拾穂抄 第五冊・第六冊 古今集注釈書影印叢刊 7	慶應義塾大学附属研究所斯道文庫 監修/ 川上新一郎 解題	200810	10,000	2	
03198	古今拾穂抄 第七冊・第八冊 古今集注釈書影印叢刊 8	慶應義塾大学附属研究所斯道文庫 監修/ 川上新一郎 解題	200810	10,000	2	
21211	大野山金剛寺善本叢刊 第一期 第一巻 漢学 第二巻 因縁・教化	後藤昭雄 監修/ (第一巻) 後藤昭雄・仁木夏美・中川真弓 編/ (第二巻) 荒木浩・近本謙介 編	201702	32,000	6	
21212	大野山金剛寺善本叢刊 第二期 第三巻 儀礼・音楽 第四巻 要文・経釈 第五巻 重書	後藤昭雄 監修 (第三巻) 中原香苗・米田真理子 編/ (第四巻) 箕浦尚美 編/ (第五巻) 赤尾栄慶・宇都宮啓吾・海野圭介 編	201802	37,000	6	
03174	金剛寺本『三宝感心要略録』の研究	後藤昭雄 監修	200712	16,000	2	
29039	本朝漢詩文資料論	後藤昭雄 著	201211	9,800	15	
29027	平安朝漢文学史論考	後藤昭雄 著	201204	7,000	8	
05407	本朝文料抄 二	後藤昭雄 著	200902	2,800	7	
29221	本朝文料抄 三	後藤昭雄 著	201407	2,800	9	
29222	本朝文料抄 四	後藤昭雄 著	201510	2,800	3	
29223	本朝文料抄 五	後藤昭雄 著	201808	2,800	0	
29224	本朝文料抄 六	後藤昭雄 著	202002	3,200	0	

07086	白居易研究年報 第八号	太田次男ほか 編	200710	5,000	1	
07093	白居易研究年報 第15号 特集 先蹤と継承	白居易研究会 編	201504	4,200	1	
07097	白居易研究年報 第19号 特集 伝奇と説話	白居易研究会 編	201812	4,800	3	
07098	白居易研究年報 最終号 特集 歌舞音楽 附 日本国内白居易研究文献解題目録	白居易研究会 編	202010	9,000	2	
08001	本朝麗藻総索引	柳沢良一 編	199309	9,709	4	
10010	旧鈔本を中心とする白氏文集本文の研究	太田次男 著	199702	63,000	3	
10008	徒然草古注釈集成	吉澤貞人 編著	199602	31,068	2	
10014	中世興福寺維摩会の研究	高山有紀 著	199703	11,000	2	
10036	中世古典学の書誌学的研究	武井和人 著	199901	19,600	3	
10044	冥報記の研究 第一巻	説話研究会 編	199902	27,400	2	
10064	冥報記の研究 第二巻	説話研究会 編	200002	18,800	2	
10063	新編西鶴全集 第一巻・索引	新編西鶴全集編集委員会 編	200002	86,000	3	
10086	新編西鶴全集 第二巻・索引	新編西鶴全集編集委員会 編	200202	117,000	4	
10087	新編西鶴全集 第三巻・索引	新編西鶴全集編集委員会 編	200302	86,000	4	
10093	新編西鶴全集 第四巻・索引	新編西鶴全集編集委員会 編	200402	85,000	2	
10434	新編西鶴全集 第五巻・索引	新編西鶴全集編集委員会 編	200703	90,000	3	
10060	正治百首の研究	山崎桂子 著	200002	18,000	1	
10082	売立目録の書誌と全国所在一覧	都守淳夫 編著	200111	40,000	1	
10084	うつほ物語の総合研究 2 古注釈編 1	室城秀之・西端幸雄ほか 編	200202	19,000	2	
10091	日本詩紀 本文と総索引	高島要 編	200302	72,000	2	
10097	日本音声学研究 実験音声学方法論考	城生伯太郎 著	200503	20,000	2	
10431	東瀛詩選 本文と総索引	高島要 編	200702	117,000	4	
10433	日本仏教説話集の源流	小林保治・李銘敬 著	200703	40,000	2	
10440	閑流和算書大成 第一期 一閑算四伝書一	東アジア数学史研究会 編/岡本和夫 代表 (川原秀城/渡辺純成/佐藤賢一/安 大玉)	200802	103,000	3	
10445	閑流和算書大成 第二期 一閑算四伝書一	東アジア数学史研究会 編/岡本和夫 代表 (川原秀城/渡辺純成/佐藤賢一)	201003	170,000	1	
10448	校訂 京大本 太平記	小秋元段・北村昌幸・長坂成行・和田琢磨 編	201103	49,500	1	
20071	文化情報事典	村上征勝 監修/金明哲・小木曾智信・中國聡・ 矢野桂司・赤間亮・阪田真己子・宝珍輝尚・ 芳沢光雄・渡辺美智子・足立浩平 編 木下鉄矢 著/池田秀三 序/ 川原秀城 後記	201912	18,000	30	
21035	清代学術と言語学 古音学の思想と系譜		201605	7,000	1	
21041	思想史のなかの日本語 訓読・翻訳・国語	中村春作 著	201705	2,800	1	
22093	入唐僧惠尊と東アジア 附 惠尊関連史料集	田中史生 編	201409	5,000	9	
22092	近世・近代初期 書籍研究文献目録	鈴木俊幸 編	201409	8,000	8	
22102	元禄・正徳 板元別出版書総覧	市古夏生 編	201411	15,000	33	
22117	加賀前田家と尊経閣文庫 文化財を守り、伝えた人々 日出づる国と日沈まぬ国	菊池紳一 著	201512	4,800	17	
22145	日本・スペイン交流の400年	上川通夫・川畑博昭 編	201604	7,500	6	
27021	テキストとイメージを編む 出版文化の日仏交流	林洋子/クリストフ・マルケ 編	201502	4,800	10	
03216	江戸・東京語研究 共通語への道	土屋信一 著	200902	12,500	3	
28007	日本語教育の音声	城生伯太郎 著	201203	1,800	2	
10077	アルタイ語対照研究	城生伯太郎 著	200102	27000	1	*展示現品のみ
28008	漢字字体史研究	石塚晴通 編	201211	8,000	20	
28010	かかりむすび考	船城俊太郎 著	201311	9,800	2	
28011	日本語史の新視点と現代日本語	小林賢次・小林干草 編	201403	13,000	1	
28012	近世儒学韻学と唐音 訓読の中の唐音直読の軌跡	湯沢賢幸 著	201403	9,800	1	
28016	日本語の談話におけるポーズの研究	高村めぐみ 著	201503	6,800	2	
28019	西來寺蔵 仮名書き法華経対照索引並びに研究	萩原義雄 編	201504	35,300	1	
28021	遊びの語源と博物誌	小林祥次郎 著	201508	1,800	25	
28023	『色葉字類抄』の研究	藤本灯 著	201603	15,000	5	
28034	詩的言語と絵画 ことばはイメージを表現できるか	今野真二 著	201705	2,800	8	
28036	西來寺本 仮名書き法華経 原色影印	萩原義雄 編	201710	38,000	6	
28037	今昔物語集の構文研究	高橋敬一 著	201803	10,000	5	
28009	朝鮮語ソウル方言の韻律構造とイントネーション	宇都木昭 著	201303	6,800	1	
28039	シベ語のモダリティの研究	児倉徳和 著	201803	12,000	2	*展示現品のみ
28046	国宝 漢書楊雄伝 第五十七	京都国立博物館 原本所蔵・編 / 石塚晴通・上杉智英・小助川貞次 解説	201912	35,000	6	
28047	近世後期テニヲハ論の展開と活用研究	遠藤佳那子 著	202001	8,000	22	
28048	日本書紀声点本の研究	鈴木豊 著	202003	14,000	9	
28050	龍谷大学図書館蔵 黒谷上人語燈録 元亨版 翻刻および総索引	佐々木勇 主編	202004	18,000	15	
29010	謡曲画誌 影印・翻刻・訳註	小林保治・石黒吉次郎 編	201102	15,000	2	
29015	白居易の文学と白氏文集の成立 廬山から東アジアへ	陳チュウ 著	201104	9,000	5	
29036	東アジアの漢籍遺産 奈良を中心として	河野貴美子・王勇 編	201207	8,000	3	

29037	豫楽院鑑 近衛家熙公年譜	緑川明憲 著	201207	9,800	12	
29043	百物語全注釈	小川武彦 著	201303	25,000	3	
29047	源氏物語 榊原本 国文学研究資料館影印叢書 4	国文学研究資料館 編/ 今西祐一郎 序文/ 池田和臣 解題	201212	75,000	4	
29060	鳳岡林先生全集	徳田武 編	201402	84,000	1	
29067	三河鳳来寺旧蔵曆応二年書写 和漢朗詠集 影印と研究	佐藤道生 著	201403	30,000	9	
29109	吉嗣拜山年譜考證	長尾直茂 著	201511	10,000	4	
29135	連歌史 中世日本をつないだ歌と人びと	奥田勲 著	201704	3,500	1	
29138	『古今奇談 英草紙』と白話語彙	張海燕 著	201702	10,000	1	
29139	源氏物語の漢詩文表現研究	笹川勲 著	201702	10,000	1	
29189	漱石文体見本帳	北川扶生子 著	202001	2,800	2	
29581	菅家文章注釈 文章篇 第一冊 巻七上	文章の会 著	201409	5,400	8	
29582	菅家文章注釈 文章篇 第二冊 巻七下	文章の会 著	201905	6,500	29	
30002	書物・印刷・本屋 日中韓をめぐる本の文化史	藤本幸夫 編	202106	16,000	13	
31015	大谷哲夫先生傘寿記念論集 禪の諸展開	大谷先生傘寿記念論集編集委員会 編	202307	10,000	11	
38002	近代日本語教科書語彙索引(初版) *別途オンデマンド版販	伊藤孝行 編	202110	8,000	2	
39033	日本人の読書 古代・中世の学問を探る *新装版あり	佐藤道生 著	202309	12,000	16	
28501	北原保雄 トークアンソロジー ことばの教育	北原保雄 著	201107	2,400	1	
28502	岐点の軌跡 わが歩み来し道	北原保雄 著	201201	3,600	1	
28503	続 岐点の軌跡 老いてなお岐点あり	北原保雄 著	202004	4,500	3	
03075	改編 匠材集	小林祥次郎 編	200102	5,000	1	
05396	日本のことば遊び 新装増補版	小林祥次郎 著	200803	1,800	9	
28004	くいもの 食の語源と博物誌	小林祥次郎 著	201107	1,600	1	
28013	人名ではない人名録 語源探索	小林祥次郎 著	201404	1,800	7	
28035	日本語のなかの中国故事 知っておきたい二百四十章	小林祥次郎 著	201709	4,200	3	
28043	女のことば 男のことば	小林祥次郎 著	201807	2,000	19	
28045	季語をさかのぼる	小林祥次郎 著	201812	3,500	35	
28051	童謡・わらべうたの言葉とこころ	若井勲夫 著	202007	1,800	8	
00671	玄玖本太平記(一) Y10000E	前田育徳会尊経閣文庫 編	197311	10000	2	
00672	玄玖本太平記(二) Y10000E	前田育徳会尊経閣文庫 編	197402	10000	0	
00673	玄玖本太平記(三) Y10000E	前田育徳会尊経閣文庫 編	197403	10000	2	
00674	玄玖本太平記(四) Y10000E	前田育徳会尊経閣文庫 編	197412	10000	2	
00675	玄玖本太平記(五) Y10000E	前田育徳会尊経閣文庫 編	197502	10000	2	
00003	天草版 イソボ物語	福島邦道 解説	199805	1,500	2	
00013	古活字本 伊曾保物語	中川芳雄 解説	197612	2,400	1	

お申し込みは _____

Web Site●<https://bensei.jp>

FAX●03-5215-9025

Mail●info@bensei.jp

勉誠社

〒101-0061

東京都千代田区神田三崎町2-18-4

株式会社 勉誠社 TEL 03-5215-9021



BENSEISHA